

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		( )	
	1 目	一般管理費		( 1 )	透明性の高い行政を推進する		( )	
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	広聴事業関係費				
事業コード		001-002-001-00005	事 業 名	広聴事業				
目的及び事業内容		より良いまちづくりをめざし、市民からの意見・提案を市政に反映するため、市政提案・苦情等意見の受け付け、陳情・要望の受け付け、パブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会等の広聴事業を実施する。						
取 組 実 績		<p>1 市政提案・・・19件</p> <p>2 苦情等・・・84件</p> <p>3 陳情・要望・・・37件</p> <p>復興政策部4件、総務部6件、財務部1件、生活環境部2件、健康部2件、福祉部2件、産業部5件、建設部5件、教育委員会1件、河北総合支所4件、河南総合支所1件、桃生総合支所2件、北上総合支所1件、牡鹿総合支所1件</p> <p>4 パブリックコメント・・・5件の計画等に対する意見募集</p> <p>(1) 石巻市障害のある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例（案）</p> <p>(2) 石巻市スポーツ推進計画（案）</p> <p>(3) 石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画（案）</p> <p>(4) 石巻市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（案）</p> <p>(5) 石巻市第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画（案）</p> <p>5 市政教室・・・14回実施、募集人数238人、参加人数188人（参加割合78.9%） 見学先：半島沿岸部拠点エリア、齋藤氏庭園、いしのまき元気いちば等</p> <p>6 まちづくり懇談会・・・6回実施、229名出席</p>						
成 果		<p>市民からの市政提案・苦情及び陳情・要望等については、市の窓口としてそれらを取りまとめ、関係各課と情報の共有が図られた。市の考え方や対応方法については、各担当課から直接市民へ回答又は市長が直接考え方を伝えることにより、市民が市政を身近なものに感じ、市政への関心を高めることができた。</p> <p>パブリックコメントでは、市の計画等に対する意見を募集した結果、計25項目の貴重な意見・提言をいただき、計画策定等の参考とした。</p> <p>市民参加型の市政教室では、市の復興状況の視察や民間企業等を見学したが、今年度は新たに完成した石巻市水産総合振興センターや津波避難タワー、いしのまき元気いちばも見学先として追加し、市政への理解及び関心を高めることができた。</p> <p>まちづくり懇談会は、市長が各地区に出向き、市政課題をテーマに市民から直接意見や要望を聴き入れ、自由な意見交換ができるため、参加者から好評を得ることができた。</p>						
成果に係る評価		<p>本市のまちづくりを進めていく上で、市民のニーズを広く把握することは非常に重要であり、電話やメール、書面で寄せられた市民からの声や意見等を市政へ届けるために必要な事業である。</p> <p>広聴事業の中でも、まちづくり懇談会は市民と市長が直接意見交換ができる魅力的な事業であるため、今後は復興状況を見ながら、半島沿岸部や新市街地の住民自治組織との開催を視野に入れ、引き続き実施していく必要がある。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	100,000		49,975					49,975

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	( )																									
	1 項	総務管理費		第 節			( )																									
	1 目	一般管理費		( )			( )																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	功労者表彰・礼遇者関係費																												
事業コード			事 業 名	市政功労者表彰事業																												
目的及び事業内容		市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。 ・ 市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・ 推薦委員会及び審査委員会の開催 ・ 表彰式の開催																														
取 組 実 績		<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、117名・11団体の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々に構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、102名・11団体の市政功労者が決定された。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：平成29年11月12日(日) 午後2時から 場 所：遊楽館 かなんホール 出席者数：60名・11団体 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																														
成 果		<p>市政のために尽力した方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別取組実績</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>153名</td> <td>124名</td> <td>115名</td> <td>112名</td> <td>117名</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>117名(76.5%)</td> <td>88名(71.0%)</td> <td>93名(80.9%)</td> <td>90名(80.4%)</td> <td>102名(87.2%)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>77名(65.8%)</td> <td>55名(62.5%)</td> <td>53名(57.0%)</td> <td>52名(57.8%)</td> <td>60名(58.8%)</td> </tr> </tbody> </table>							年度別取組実績	H25	H26	H27	H28	H29	市政功労者推薦者数	153名	124名	115名	112名	117名	市政功労者決定者数	117名(76.5%)	88名(71.0%)	93名(80.9%)	90名(80.4%)	102名(87.2%)	表彰式出席者数	77名(65.8%)	55名(62.5%)	53名(57.0%)	52名(57.8%)	60名(58.8%)
年度別取組実績	H25	H26	H27	H28	H29																											
市政功労者推薦者数	153名	124名	115名	112名	117名																											
市政功労者決定者数	117名(76.5%)	88名(71.0%)	93名(80.9%)	90名(80.4%)	102名(87.2%)																											
表彰式出席者数	77名(65.8%)	55名(62.5%)	53名(57.0%)	52名(57.8%)	60名(58.8%)																											
成果に係る評価		候補者を推薦するにあたっては、市報やホームページで市民へ広く周知するとともに庁内各課へ通知したことで、該当者の掘り起こし等を行うことができた。また、受賞者に対し、その功績を讃えることにより、市政の振興と市政への参加意識の高揚が期待できることから、今後も継続して実施する必要がある。																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	545,980	402,823				402,823																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	( )																																																																
	1 項	総務管理費		第 節			( )																																																																
	1 目	一般管理費		( )			( )																																																																
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報公開推進費																																																																			
事業コード			事 業 名	情報公開・個人情報保護事業																																																																			
目的及び事業内容		<p>1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。</p> <p>2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。</p>																																																																					
取 組 実 績		<p>1 開示請求の決定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開示請求件数</th> <th colspan="7">請求に対する決定等</th> </tr> <tr> <th>開示</th> <th>一部開示</th> <th>開示拒否</th> <th>不存在</th> <th>その他</th> <th>取下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報公開</td> <td>96件</td> <td>33件</td> <td>50件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>8件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>個人情報</td> <td>52件</td> <td>26件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>11件</td> <td>9件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 不服申立ての状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">不服申 立件数</th> <th rowspan="2">取下</th> <th rowspan="2">諮問</th> <th rowspan="2">答申</th> <th colspan="4">不服申立てに対する決定</th> <th rowspan="2">次年度 繰越し</th> </tr> <tr> <th>認容</th> <th>一部認容</th> <th>棄却</th> <th>却下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況 平成29年度においては、不服申立て等の諮問案件に係る会議の開催はなかったが、個人情報保護条例の一部改正について意見を聴くため、また、要配慮個人情報の収集禁止の例外とする事務事業に関する諮問のため、審査会を2回開催した。</p> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">利用件数</th> <th colspan="3">利用件数の内訳</th> </tr> <tr> <th>行政資料等の閲覧</th> <th>うち行政資料等の複写</th> <th>その他相談等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>536件</td> <td>442件</td> <td>(266件)</td> <td>94件</td> </tr> </tbody> </table>							開示請求件数	請求に対する決定等							開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下	情報公開	96件	33件	50件	0件	3件	8件	2件	個人情報	52件	26件	4件	0件	11件	9件	2件	不服申 立件数	取下	諮問	答申	不服申立てに対する決定				次年度 繰越し	認容	一部認容	棄却	却下	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の閲覧	うち行政資料等の複写	その他相談等	536件	442件	(266件)	94件
開示請求件数	請求に対する決定等																																																																						
	開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下																																																																	
情報公開	96件	33件	50件	0件	3件	8件	2件																																																																
個人情報	52件	26件	4件	0件	11件	9件	2件																																																																
不服申 立件数	取下	諮問	答申	不服申立てに対する決定				次年度 繰越し																																																															
				認容	一部認容	棄却	却下																																																																
0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件																																																															
利用件数	利用件数の内訳																																																																						
	行政資料等の閲覧	うち行政資料等の複写	その他相談等																																																																				
536件	442件	(266件)	94件																																																																				
成 果		<p>1 情報公開 公文書の開示については、迅速かつ適切に行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。請求件数は、前年度(192件)と比較すると50%減少の96件となっている。この減少した主な要因としては、前年度まで開示請求により公開していた工事関係書類(工事実施設計書等)について、原則として行政資料等の複写申込制度により情報提供を行ったことが挙げられる。一方、この影響により、情報公開コーナーの利用件数について、前年度(407件)と比較すると129件増の536件となっており、行政資料等の複写や閲覧など、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。</p> <p>2 個人情報保護 個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。また、本人に対し個人情報の開示を行ったことで、自己情報を求める権利を保障するとともに、個人の権利利益を保護することができたほか、個人情報保護条例を一部改正し、個人情報の定義の明確化、要配慮個人情報の取扱いを新たに規定するなど、より適切な個人情報保護制度の運用を図ることができた。</p>																																																																					
成果に係る評価		公文書の開示については、請求された内容に応じ、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較し、判例等を踏まえながら、今後も適正かつ迅速な情報公開事務に継続して努めることが重要である。また、情報の一層の公開を図るため、市民に必要な情報を積極的に提供する情報提供施策の充実を図り、情報公開を総合的に推進していく必要がある。 個人情報の保護については、個人情報の定義の明確化及び要配慮個人情報の取扱いの新設により、より適切な個人情報の保護が図られることが期待される。今後も引き続き、個人の権利利益が侵害されることのないよう、個人情報保護条例を遵守し、情報公開・個人情報保護審査会の意見を踏まえながら、個人情報の適正な取扱いの確保に努めることが重要である。																																																																					
(単位：円)																																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																	
	2,578,656	2,208,736			446,620	1,762,116																																																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		( )	
	2 目	文書広報費		( 1 )	透明性の高い行政を推進する		( )	
実施計画掲載ページ		P 13	中 事 業		広報活動費			
事業コード		001-002-001-00004	事 業 名		「市報いしのまき」発行事業			
目的及び事業内容		行政情報を広く市民に周知する手段として市報を作成し、市民の市政への関心を高め、市政に対する理解と協力を得るため毎月発行する。						
取組実績		<p>毎月1日号を発行し、市の施策や行政情報、各種お知らせ、催事、文化スポーツ行事、募集、子育て支援情報、健診のお知らせなど多くの情報を掲載し、市民へ情報提供を行った。</p> <p>また、写真やイラストを使用しながら、見て楽しめる話題を取り入れるなど、紙面づくりの工夫に努めた。</p> <p>平成29年10月1日号から、簡単にメンタルヘルスチェックができる「こころの体温計」につながるQRコードを、平成30年1月1日号からは、市報には掲載されていない「ゴミ出し」に関する情報を発信するため「ゴミ出しアプリ」につながるQRコードを掲載した。</p> <p>[市報発行] 毎月1日発行、発行部数月65,000部、12ページ（うちフルカラー8ページ、白黒4ページ）</p> <p>主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興に関するお知らせ</li> <li>・市の財政状況</li> <li>・市職員の人事行政運営のあらまし</li> <li>・各種行政情報</li> <li>・平成30年度施政方針</li> <li>・まちの話題</li> <li>・休日等救急当番医</li> <li>・子育て支援情報</li> <li>・各種健診</li> <li>・文化スポーツ行事</li> <li>・各種事業の募集</li> </ul>						
成 果		各種行政情報や市の主要な施策・取り組みなどについて、分かりやすく読みやすい紙面づくりに努め、市民へ情報提供が図られた。						
成果に係る評価		市報の発行にあたっては、市民にとって興味を持ってもらえるような魅力ある内容の掲載に努めるとともに、掲載項目の把握や紙面の割り付けを検討するなど、随時見直しを図りながら、より良い広報紙となるよう改善を続ける必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	19,500,000	19,470,030			19,470,030			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画																																
	1 項	総務管理費		第 節																																		
	6 目	企画費		( )																																		
実施計画掲載ページ			中 事 業		がんばる石巻応援寄附関係費																																	
事業コード			事 業 名		がんばる石巻応援寄附関係事業																																	
目的及び事業内容		主に市外の在住の方が、ふるさとや応援したい地域へ寄附を行い、貢献いただくものである。その際、寄附者に対しては特産品を送付することで、地域経済の活性化が図られるとともに、本市の目指す将来像「笑顔と自然があふれる元気なまち」をつくるための主要な事業に充当している。																																				
取組実績		<p>1 ふるさと納税の申込方法</p> <p>(1) インターネットでの申込み約97%、申込書による申込み約3%</p> <p>2 納付方法の割合</p> <p>(1) クレジット89.0%、郵便局振込9.1%、銀行振込1.6%、現金振込0.3%</p> <p>3 P R方法について</p> <p>(1) 雑誌掲載やホームページの再構築</p> <p>(2) 首都圏での各種イベントにて積極的にチラシを配布した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>イベント</th> <th>会場</th> <th>来場者</th> <th>チラシ配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月23日</td> <td>「いのちの絵本」朗読会</td> <td>千葉県浦安市</td> <td>約500人</td> <td>500部</td> </tr> <tr> <td>9月2日～9月3日</td> <td>ふるさと納税大感謝祭</td> <td>東京都江東区</td> <td>約15,000人</td> <td>500部</td> </tr> <tr> <td>12月1日～12月3日</td> <td>神宮外苑いちようまつり</td> <td>東京都神宮外苑</td> <td>約25万人/1日</td> <td>2,000部</td> </tr> <tr> <td>1月12日～1月16日</td> <td>ふるさとまつり東京</td> <td>東京都東京ドーム</td> <td>約45,000人/1日</td> <td>3,000部</td> </tr> <tr> <td>1月20日</td> <td>「いのちの絵本」朗読会</td> <td>千葉県野田市</td> <td>約1,200人</td> <td>1,200部</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 特産品選定評価委員会開催による特産品選定</p> <p>(1) 開催回数は2回（6月、10月）※寄附者の方々によるこんでもらえるように、公平・公正な視点により選定</p> <p>5 ポータルサイトの追加（2ヶ所→5ヶ所）</p> <p>(1) 28年度（ふるさとチョイス、Y A H O O ! 金金）→29年度（ふるさとチョイス、Y A H O O ! ふるなび、楽天、ANA）</p>								イベント	会場	来場者	チラシ配布数	4月23日	「いのちの絵本」朗読会	千葉県浦安市	約500人	500部	9月2日～9月3日	ふるさと納税大感謝祭	東京都江東区	約15,000人	500部	12月1日～12月3日	神宮外苑いちようまつり	東京都神宮外苑	約25万人/1日	2,000部	1月12日～1月16日	ふるさとまつり東京	東京都東京ドーム	約45,000人/1日	3,000部	1月20日	「いのちの絵本」朗読会	千葉県野田市	約1,200人	1,200部
	イベント	会場	来場者	チラシ配布数																																		
4月23日	「いのちの絵本」朗読会	千葉県浦安市	約500人	500部																																		
9月2日～9月3日	ふるさと納税大感謝祭	東京都江東区	約15,000人	500部																																		
12月1日～12月3日	神宮外苑いちようまつり	東京都神宮外苑	約25万人/1日	2,000部																																		
1月12日～1月16日	ふるさとまつり東京	東京都東京ドーム	約45,000人/1日	3,000部																																		
1月20日	「いのちの絵本」朗読会	千葉県野田市	約1,200人	1,200部																																		
成 果		集客性の高いイベントに積極的に参加し、チラシ配布等でPRを行い寄附金増加を図った。また、ポータルサイトを2つから5つに増やしたことにより、前年度より約5,500万円寄附金額が増加した。																																				
成果に係る評価		平成29年度はポータルサイトの追加や雑誌掲載、ホームページの再構築、イベントでの積極的なPR等、平成28年度より寄附件数及び寄附金額の大幅な増加が図られた。																																				
		平成30年度は、平成29年度より、更に寄附金増加を目指し、取り組む必要がある。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	149,896,397	148,469,069																																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第 節		( )	
	6 目	企画費		( )		( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	総合戦略推進関係費			
事業コード			事 業 名	未来石巻市政政策コンテスト実施事業			
目的及び事業内容		参加者（若者）が、政策を考える過程を通じて石巻への愛着を持ち、定住・移住のきっかけとするとともに、市政について関心をもってもらい、優秀な提案については、市の施策に反映させることを目的に、「30年後の石巻市のビジョンおよび10年後の重点施策」をテーマに政策を考え、決勝大会で政策を発表し、一般観覧者の投票により最優秀賞等を決定する政策コンテストを実施した。					
取組実績		<p>7月22日から10月29日までの約3か月間にわたり、未来石巻市政政策コンテストを実施した。期間中に、全体催事（3回）及び毎週1回のEメールによる相談報告を行った。 民間の視点からの助言等を考慮し、政策コンテストの運営に関して、石巻青年会議所の協力をいただいた。</p> <p>7月22日 キックオフ 市の概要説明及び市内の施設見学を実施 9月 2日 中間チェック 政策提案への助言及び相談を実施 10月29日 決勝大会 各チームの政策提案をコンテスト形式で発表した。 一般観覧者の投票により、最優秀賞等を決定した。</p>					
成 果		<p>1 参加者へのアンケート結果 (1) 「まちづくりに積極的に関わっていきたくて強く思う、どちらかといえば思う」と答えた割合：78.9% (2) 意見・感想 ・具体的に政策を考えることを経験させてもらい参加してとても良かった。 ・石巻について考える良い機会にできた。 ・もっと石巻を良くしていきたいと改めて思った。</p> <p>2 提案された施策への反映 最優秀賞の提案について、施策への反映を検討している。</p> <p>3 参加者数 12チーム、63名（平成28年度：5チーム、27名）</p> <p>4 一般観覧者数 100名（平成28年度：51名）</p>					
成果に係る評価		参加者である若者の、市政への関心や定住・移住のきっかけの醸成が図られたことから、今後も実施内容を検証しながら事業を継続する必要がある。 地元への愛着や誇りを持ち、産業を担う人材を育成して、若者の定着を目指すため、石巻青年会議所、石巻専修大学や地元高等学校と連携し、地域に根ざした政策コンテストとして定着させていきたい。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,900,000	2,750,760				2,750,760	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	復興計画	( )																									
	1 項	総務管理費		第 2 節		ともに創る協働のまち 市民のまちづくりに対する関心を高める	( )																								
	6 目	企画費		( 1 )		透明性の高い行政を推進する	( )																								
実施計画掲載ページ		P13	中 事 業	ICT関連事業推進費																											
事業コード		001-002-001-00947	事 業 名	オープンデータ活用推進事業																											
目的及び事業内容		地域課題の解消と市民サービスの向上並びにICTの活用による震災伝承を推進するため、本市が保有する震災関連情報を含む行政情報の整備・整理を行いオープンデータとして活用するための環境整備を実施する。また、地元大学との連携事業等を実施し、潜在化する地域課題を掘り起こし課題解消につながる行政情報のニーズを把握しデータ活用の推進を図る。																													
取組実績		<p>1 震災関連情報オープンデータ化事業（平成28年度からの継続事業：秘書広報課連携） (1) デジタル化された震災関連情報の整理・分類の実施 (2) デジタル化された震災関連情報の利活用促進のためのデータ整備</p> <p>2 東日本大震災口述記録デジタル化業務 (1) 被災体験者の口述記録（映像）のテキスト化を実施 (2) テキスト化した口述記録のオープンデータ化に向けたデータ整備</p> <p>3 石巻専修大学連携事業、総務省IoTサービス創出支援実証事業 (1) 潜在化した地域課題の掘り起こしと解決に資する行政情報のニーズの把握 (2) 住民バスのオープンデータを活用した過疎地域における持続性の高い地域交通の実証事業の実施</p>																													
成 果		<p>平成29年、前年に確立させたデータ整理・分類手法を実施し、将来のICTを活用した震災伝承や防災教育で活用できる震災関連情報をオープンデータ化するための環境整備が図られた。また、地元大学との連携した取り組みから地域課題の解消が期待できる有益な行政情報のニーズを把握し、大学の研究活動やデータ利用者の自発的な取り組みによるデータの二次利用が促進された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="3">達成率等</th> <th rowspan="3">利用されたデータと解消された課題の例</th> </tr> <tr> <th colspan="2">※解消された課題等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>100%</td> <td>【利用されたデータ】：避難所一覧 現在地から直近の避難所を知ることができる。</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>100%</td> <td>【利用されたデータ】：ごみ出しカレンダー 地域のごみ出しルールの浸透（転入者や学生等）</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>100%</td> <td>【利用されたデータ】：津波浸水区域情報 インターネットで可視化され防災意識の醸成が図られる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度末時点におけるオープンデータ公開サイト (1) オープンデータ公開数（データセット数）：239セット （評価指数ランキング：332点、全国第9位） (2) データダウンロード数：18,745回</p>						区分	成果指標		達成率等	利用されたデータと解消された課題の例	※解消された課題等		目標値	実績等	H27	2件	2件	100%	【利用されたデータ】：避難所一覧 現在地から直近の避難所を知ることができる。	H28	2件	2件	100%	【利用されたデータ】：ごみ出しカレンダー 地域のごみ出しルールの浸透（転入者や学生等）	H29	3件	3件	100%	【利用されたデータ】：津波浸水区域情報 インターネットで可視化され防災意識の醸成が図られる。
区分	成果指標		達成率等	利用されたデータと解消された課題の例																											
	※解消された課題等																														
	目標値	実績等																													
H27	2件	2件	100%	【利用されたデータ】：避難所一覧 現在地から直近の避難所を知ることができる。																											
H28	2件	2件	100%	【利用されたデータ】：ごみ出しカレンダー 地域のごみ出しルールの浸透（転入者や学生等）																											
H29	3件	3件	100%	【利用されたデータ】：津波浸水区域情報 インターネットで可視化され防災意識の醸成が図られる。																											
成果に係る評価		平成27年度の事業開始から、地域課題の解消や市民サービスの向上に繋がる行政情報の有用性・有益性がデータ利用者の自発的な取り組みにより作成される仕組み等を通じ、データを保有する行政と提供された仕組みを利用する利用者に確実に浸透しており、その効果として地域課題解消に向けたデータの二次利用が活性化し人材育成や個人のITスキル向上、若者の市政参加促進へと繋がっている。 また、被災地である本市しか持ち得ない貴重な震災関連情報のオープンデータ化に着実に取り組みデータの二次利用を促進することにより、将来のICTを活用した震災伝承や防災教育を効果的に実施できる環境が図られるとともに、研究・分析・ビジネス等のさまざまな分野において活用が見込まれるため、今後も事業を継続する必要がある。																													
（単位：円）																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																									
	3,000,000	1,142,910				1,142,910																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	( )																																									
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		( )																																									
	7 目	地域振興費		( 1 )	個性ある地域をつくる		( )																																									
実施計画掲載ページ		P115	中 事 業	市民協働推進費																																												
事業コード	006-001-001-00023	事 業 名	地域づくり基金助成事業																																													
目的及び事業内容																																																
市民の連携の強化及び均衡ある地域振興に資するため、行政との協働のまちづくりにより実施する事業や市全域のまちづくりのために地域コミュニティ活性化を図る事業に対し、助成限度額30万円を支援するもの。																																																
取組実績																																																
19団体より申請があり、一次審査及び公開プレゼンテーションによる審査の結果、16団体の事業に交付決定を行い、助成金を交付した。																																																
1 新規助成団体数 4団体 (本庁4件) 2 継続助成団体数 12団体 (本庁5件、河北1件、河南1件、桃生3件、牡鹿2件) 計 助成団体数 16団体 (本庁9件、河北1件、河南1件、桃生3件、牡鹿2件)																																																
成果																																																
事業の実施により、伝統文化の伝承や地域振興など地域コミュニティ活性化が図られただけでなく、地域の健康づくり、地域づくりのリーダー育成や世代間交流による地域の繋がりが図られた。																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>団体の名称</th> <th>事業の名称</th> <th>団体の名称</th> <th>事業の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 がんばろう！石巻の会</td> <td>東日本大震災3.11のつどい</td> <td>10 特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ</td> <td>うめばたけ とも図書室</td> </tr> <tr> <td>2 河南鹿嶋ばやし保存会</td> <td>河南鹿嶋ばやし伝承事業</td> <td>11 いしのまき演劇祭実行委員会</td> <td>第2回いしのまき演劇祭</td> </tr> <tr> <td>3 一般社団法人 りぶらす</td> <td>地域健康サポーター事業</td> <td>12 NPO法人 ジョイフル網地島</td> <td>旧児童公園の復元</td> </tr> <tr> <td>4 水と緑の環境フォーラム・ものう</td> <td>北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会</td> <td>13 あじ朗志組</td> <td>網地島で紅葉の山の森林再生事業Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>5 特定非営利活動法人 ばんがきんふれあい</td> <td>住民主体の健康づくりボランティア指導者養成事業</td> <td>14 石巻「健康卓球80運動」推進協議会</td> <td>第3回石巻「G&amp;B卓球フェスティバル」開催を中心とした通年の「健康卓球80運動」推進事業</td> </tr> <tr> <td>6 河南桃生商工会青年部</td> <td>郷土体験「はねこ塾」</td> <td>15 すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会</td> <td>すばらしい北北上運河沿線の環境美化活動</td> </tr> <tr> <td>7 未来の石巻を創る中学生の応援委員会</td> <td>未来の石巻を創る中学生の応援プロジェクト</td> <td>16 NPO石巻広域クリエイティブアートの会 ペンギンズアート工房</td> <td>まちなか交流 ペンギンズアートスクール</td> </tr> <tr> <td>8 子どものための石巻市民会議</td> <td>子どもの遊び場「OGASU公園」開催</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 橋通りCOMMON運営協議会</td> <td>橋通りにおける「風のとおる市」の開催</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									団体の名称	事業の名称	団体の名称	事業の名称	1 がんばろう！石巻の会	東日本大震災3.11のつどい	10 特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ とも図書室	2 河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業	11 いしのまき演劇祭実行委員会	第2回いしのまき演劇祭	3 一般社団法人 りぶらす	地域健康サポーター事業	12 NPO法人 ジョイフル網地島	旧児童公園の復元	4 水と緑の環境フォーラム・ものう	北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会	13 あじ朗志組	網地島で紅葉の山の森林再生事業Ⅱ	5 特定非営利活動法人 ばんがきんふれあい	住民主体の健康づくりボランティア指導者養成事業	14 石巻「健康卓球80運動」推進協議会	第3回石巻「G&B卓球フェスティバル」開催を中心とした通年の「健康卓球80運動」推進事業	6 河南桃生商工会青年部	郷土体験「はねこ塾」	15 すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会	すばらしい北北上運河沿線の環境美化活動	7 未来の石巻を創る中学生の応援委員会	未来の石巻を創る中学生の応援プロジェクト	16 NPO石巻広域クリエイティブアートの会 ペンギンズアート工房	まちなか交流 ペンギンズアートスクール	8 子どものための石巻市民会議	子どもの遊び場「OGASU公園」開催			9 橋通りCOMMON運営協議会	橋通りにおける「風のとおる市」の開催		
団体の名称	事業の名称	団体の名称	事業の名称																																													
1 がんばろう！石巻の会	東日本大震災3.11のつどい	10 特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ とも図書室																																													
2 河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業	11 いしのまき演劇祭実行委員会	第2回いしのまき演劇祭																																													
3 一般社団法人 りぶらす	地域健康サポーター事業	12 NPO法人 ジョイフル網地島	旧児童公園の復元																																													
4 水と緑の環境フォーラム・ものう	北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会	13 あじ朗志組	網地島で紅葉の山の森林再生事業Ⅱ																																													
5 特定非営利活動法人 ばんがきんふれあい	住民主体の健康づくりボランティア指導者養成事業	14 石巻「健康卓球80運動」推進協議会	第3回石巻「G&B卓球フェスティバル」開催を中心とした通年の「健康卓球80運動」推進事業																																													
6 河南桃生商工会青年部	郷土体験「はねこ塾」	15 すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会	すばらしい北北上運河沿線の環境美化活動																																													
7 未来の石巻を創る中学生の応援委員会	未来の石巻を創る中学生の応援プロジェクト	16 NPO石巻広域クリエイティブアートの会 ペンギンズアート工房	まちなか交流 ペンギンズアートスクール																																													
8 子どものための石巻市民会議	子どもの遊び場「OGASU公園」開催																																															
9 橋通りCOMMON運営協議会	橋通りにおける「風のとおる市」の開催																																															
成果に係る評価																																																
公開プレゼンテーションの実施により、自団体の活動について見つめ直すとともに、他団体の活動内容について学習する良い機会になった。また、多様な分野（福祉、伝統芸能、教育、スポーツ等）から地域コミュニティの活性化が図れていることは評価できる。 新規助成団体の件数を増やすため、NPO支援オフィスを活用して広報を行っていく必要がある。																																																
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	4,000,000	3,475,000			3,475,000																																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	( )																																																			
	1 項	総務管理費		第 1 節	住民の自治力を強化する		( )																																																			
	7 目	地域振興費		( 2 )	公益的な市民活動を支援する		( )																																																			
実施計画掲載ページ		P13	中 事 業	市民協働推進費																																																						
事業コード	001-001-002-00675	事 業 名	集会所建設費補助事業																																																							
目的及び事業内容																																																										
【目的】 住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、もって地域社会の健全な発展に資する。 【内容】 集会所の新築事業、集会所の改築、増築及び改修事業、既存建物を集会所として利用するための取得事業、集会所建設用地の取得事業、集会所の排水設備の公共下水道等への接続事業などに対する補助																																																										
取組実績																																																										
○集会所の新築及び改修事業（石巻市集会所建設費等補助金）																																																										
【新築3件】・新山振興会集会所 ・長渡地区振興会集会所（H30へ繰越） ・網地自治会集会所（H30へ繰越）																																																										
【改修5件】・大瓜亀山集会所（トイレ改修） ・大瓜八津会館（トイレ改修） ・高木東会館（外部塗装、畳替替） ・新田四集落センター（トイレ改修、下水道接続、屋根修繕） ・牛田下生活センター（トイレ改修、下水道接続）																																																										
成果																																																										
地域の交流拠点となる地区集会所の新築及び改修に対して補助金を交付し支援することにより、地域コミュニティ活動の促進と地域の連帯感の高揚、市民と行政の協働のまちづくりの推進が図られた。																																																										
○石巻市集会所建設費等補助金																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大瓜亀山集会所（石巻）</td> <td>改修</td> <td>1,493,424円</td> <td>995,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>大瓜八津会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>1,534,096円</td> <td>1,022,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>高木東会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>1,198,000円</td> <td>798,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>新田四集落センター（桃生）</td> <td>改修</td> <td>6,207,165円</td> <td>3,770,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>牛田下生活センター（桃生）</td> <td>改修</td> <td>2,516,400円</td> <td>1,602,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>新山振興会集会所（牡鹿）</td> <td>新築</td> <td>24,440,400円</td> <td>24,440,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>長渡地区振興会集会所（牡鹿）</td> <td>新築</td> <td>69,982,920円</td> <td>27,992,000円</td> <td>概算払</td> </tr> <tr> <td>網地自治会集会所（牡鹿）</td> <td>新築</td> <td>38,611,080円</td> <td>15,444,000円</td> <td>概算払</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>145,983,485円</td> <td>76,063,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合	大瓜亀山集会所（石巻）	改修	1,493,424円	995,000円	2/3以内	大瓜八津会館（石巻）	改修	1,534,096円	1,022,000円	2/3以内	高木東会館（石巻）	改修	1,198,000円	798,000円	2/3以内	新田四集落センター（桃生）	改修	6,207,165円	3,770,000円	2/3以内	牛田下生活センター（桃生）	改修	2,516,400円	1,602,000円	2/3以内	新山振興会集会所（牡鹿）	新築	24,440,400円	24,440,000円	上限	長渡地区振興会集会所（牡鹿）	新築	69,982,920円	27,992,000円	概算払	網地自治会集会所（牡鹿）	新築	38,611,080円	15,444,000円	概算払	計		145,983,485円	76,063,000円	
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合																																																						
大瓜亀山集会所（石巻）	改修	1,493,424円	995,000円	2/3以内																																																						
大瓜八津会館（石巻）	改修	1,534,096円	1,022,000円	2/3以内																																																						
高木東会館（石巻）	改修	1,198,000円	798,000円	2/3以内																																																						
新田四集落センター（桃生）	改修	6,207,165円	3,770,000円	2/3以内																																																						
牛田下生活センター（桃生）	改修	2,516,400円	1,602,000円	2/3以内																																																						
新山振興会集会所（牡鹿）	新築	24,440,400円	24,440,000円	上限																																																						
長渡地区振興会集会所（牡鹿）	新築	69,982,920円	27,992,000円	概算払																																																						
網地自治会集会所（牡鹿）	新築	38,611,080円	15,444,000円	概算払																																																						
計		145,983,485円	76,063,000円																																																							
成果に係る評価																																																										
地域コミュニティ活動の拠点である集会所は、市民と協働のまちづくりを推進する上で重要な施設であるという認識のもと、今後も継続して新築や改修等に対して補助を行っていく必要がある。																																																										
(単位：円)																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	77,563,000	76,063,000					76,063,000																																																			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	( )																									
	1 項	総務管理費		第 節			( )																									
	7 目	地域振興費		( )			( )																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	コミュニティ施設関係費																												
事業コード			事 業 名	コミュニティ施設管理運営事業																												
目的及び事業内容		地域のコミュニティづくりの推進を図るために設置したコミュニティ施設を、適切に管理運営することで、地域住民の連帯意識を高め、住民の福祉と健康の増進に寄与することを目的とする。																														
取 組 実 績		<p>1 向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> <tr> <td>年間利用実績</td> <td>32,143人</td> </tr> </table> <p>2 鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> <tr> <td>年間利用実績</td> <td>6,740人</td> </tr> </table> <p>【主な利用内容】 サークル活動、町内会打ち合わせ、スポーツ少年団活動、ボランティア活動、健康教室、検診会場、企業研修等</p>							区 分	利用者数	年間利用実績	32,143人	区 分	利用者数	年間利用実績	6,740人																
区 分	利用者数																															
年間利用実績	32,143人																															
区 分	利用者数																															
年間利用実績	6,740人																															
成 果		<p>施設管理人を配置し、適正管理に努めた。 利用状況としては、継続的に使用している団体もあり、地域のコミュニティづくりの推進が図られた。</p> <p>【使用実績】</p> <p>向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>使用料</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,380件</td> <td>3,483,540円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,241件</td> <td>2,915,160円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,214件</td> <td>3,004,100円</td> </tr> </table> <p>鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>使用料</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>303件</td> <td>416,000円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>402件</td> <td>479,400円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>391件</td> <td>503,100円</td> </tr> </table> <p>※ 鹿妻南コミュニティハウスは平成27年4月30日までの期間、東日本大震災の復興に資するため、地域のコミュニティ再生を目的として、市民または市内に活動拠点を置く団体が、地域のコミュニティづくりのために主催し、または主体となって利用する場合は、使用料を100%免除とした。</p>							区分	件数	使用料	H27	1,380件	3,483,540円	H28	1,241件	2,915,160円	H29	1,214件	3,004,100円	区分	件数	使用料	H27	303件	416,000円	H28	402件	479,400円	H29	391件	503,100円
区分	件数	使用料																														
H27	1,380件	3,483,540円																														
H28	1,241件	2,915,160円																														
H29	1,214件	3,004,100円																														
区分	件数	使用料																														
H27	303件	416,000円																														
H28	402件	479,400円																														
H29	391件	503,100円																														
成果に係る評価		<p>サークル活動や町内会活動の場として施設が活用されることにより、地域コミュニティの醸成が図られ、特に鹿妻地区においては震災により失われたコミュニティ形成の一助となった。 企業・市外も含めた様々な種類の団体等からの利用申込みがあり、周辺地域住民だけではなく交流の場となった。 両施設については、県外や営利を目的とする団体等の利用により、利用件数は平成28年度と同等程度だったが、使用料収入が増加した。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	22,258,720	21,028,368			4,354,272	16,674,096																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	( )																									
	1 項	総務管理費		第 節			( )																									
	7 目	地域振興費		( )			( )																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	市民協働推進費																												
事業コード			事 業 名	NPO支援推進事業																												
目的及び事業内容		<p>市民公益活動団体の活動支援の拠点として「NPO支援オフィス」を開設し、市民公益活動団体、市民、事業者及び市の連携・交流の場所を提供することにより、市内で活動するNPOの育成・支援を図る。</p> <p>1 NPO支援オフィスの施設管理業務 2 情報収集提供業務 3 相談事業 4 ネットワーク事業 5 研修事業</p>																														
取 組 実 績		<p>NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのみまきNPOセンターを、石巻市NPO支援オフィスの指定管理者とし、利用者の様々なニーズに対応した。</p> <p>1 施設管理業務 (1) 会議室・ロッカー・メールボックスの貸出し (2) 機器利用サービス(印刷機・コピー機・裁断機・パソコン等の貸出し) 2 情報収集提供業務 (1) 市民活動情報の収集・提供 (2) 市民活動情報に関する図書資料の管理・貸出 (3) 機関誌作成・・・「んぼん舗」 毎月1回発行 (4) メルマガ作成・・・「んぼん舗」 毎月1回配信 (5) 石巻かほく、石巻日日新聞への情報提供及び寄稿 3 相談業務・・・NPOについての相談・問い合わせ等に関する対応 (1) 団体設立、運営等、補助金等に係る相談 4 ネットワーク事業(石巻市NPO連絡会議の事務局) (1) 石巻市NPO連絡会議の全体会開催(①平成29年6月 ②平成29年10月 ③平成30年2月) 5 研修業務(各団体の基盤向上のための研修の実施) 年3回開催</p>																														
成 果		<p>・NPO支援オフィス利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図書閲覧者数</th> <th>パソコン利用者数</th> <th>機器利用者数</th> <th>掲示物依頼数</th> </tr> <tr> <td>H28実績</td> <td>3,292人</td> <td>230件</td> <td>106件</td> <td>2人</td> <td>48人</td> <td>519件</td> <td>30件</td> </tr> <tr> <td>H29実績</td> <td>3,304人</td> <td>230件</td> <td>126件</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>416件</td> <td>23件</td> </tr> </table> <p>・石巻市市民公益活動団体 登録数 153団体 (前年比16団体増) ・石巻NPO連絡会議…石巻で活動するNPOの連携が図られた。 ①6月1日 講演、協働事例報告会及びグループディスカッション 参加：27団体 市職員：12課19人 ②10月5日 講演とグループディスカッション 参加：29団体 ③2月1日 講演とグループディスカッション 参加：31団体 市職員：10課14人 ・研修業務…各団体のスキルアップにつながった。 ①4月14日②4月21日：PowerPointプレゼン講座 ③3月7日：Facebook活用講座</p>							区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図書閲覧者数	パソコン利用者数	機器利用者数	掲示物依頼数	H28実績	3,292人	230件	106件	2人	48人	519件	30件	H29実績	3,304人	230件	126件	3人	2人	416件	23件
区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図書閲覧者数	パソコン利用者数	機器利用者数	掲示物依頼数																									
H28実績	3,292人	230件	106件	2人	48人	519件	30件																									
H29実績	3,304人	230件	126件	3人	2人	416件	23件																									
成果に係る評価		<p>市民公益活動団体の登録は平成28年度から16団体増えている。 NPO支援オフィスへの来館者が増加したことは、市報や新聞に掲載し、また活動等を通じて支援オフィスの存在が広く認知され、中間支援組織としての役割が浸透されてきていると考えられる。 石巻市NPO連絡会議全体会を平成29年度は3回開催し、参加団体の連携と個々のスキルアップにつながった。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	9,280,000	9,277,200				9,277,200																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	( )				
	1 項	総務管理費		第2節	市民のまちづくりに対する関心を高める		( )				
	7 目	地域振興費		(2)	市民参加を促進する		( )				
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	地域振興関係費							
事業コード		001-002-002-00016	事 業 名	地域まちづくり委員会事業							
目的及び事業内容		<p>地域の活性化を図ることや行政サービスの低下など合併による不安解消のため、旧町単位に設置され、各総合支所と連携し、市民と行政が一体となったまちづくりを行うことを目的とする。さらには、市長の諮問に応じた各種施策に関する計画等の審議、答申を行うと共に、当該地域のまちづくり施策について検討し、市長に提案する。</p> <p>【事業エリア】河北・雄勝・河南・桃生・北上・牡鹿の旧6町地域 平成29年9月～平成31年8月 第7期委員（任期は2年間）</p>									
取組実績	【開催実績】		委員数	第1回		第2回		第3回		第4回	
			開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	
	河北地域まちづくり委員会	13人	9/6	10名	2/13	11名	3/21	2名	-	-	
	雄勝地域まちづくり委員会	18人	6/8	16名	9/5	14名	2/6	12名	3/21	5名	
	河南地域まちづくり委員会	18人	8/24	13名	9/6	16名	3/21	6名	-	-	
	桃生地域まちづくり委員会	10人	10/12	10名	2/14	9名	3/21	3名	-	-	
	北上地域まちづくり委員会	18人	7/26	10名	10/10	15名	2/8	13名	3/21	2名	
	牡鹿地域まちづくり委員会	12人	7/5	10名	10/17	10名	3/15	11名	3/21	1名	
※3月21日実施については、全体会（講演会）											
成 果	【取組内容】 (共通) 第7期委員の委嘱状交付式										
	<p>・各地域まちづくり委員会では、下記の事項の説明及び協議を行った。 (河北) まちづくり委員会の役割・石巻市総合計画の説明・パークゴルフ場の整備・前期までの提案と意見交換 (雄勝) 石巻市雄勝中心部地区拠点エリア整備事業・石巻市雄勝地域浜浜地区コミュニティ広場計画・パークゴルフ場整備事業等について (河南) まちづくり委員会の役割・震災前後の河南地区の人口及び世帯数・新市まちづくり計画について (桃生) まちづくり委員会の役割・桃生地区の各種団体が持つ課題等の意見交換 (北上) まちづくり委員会の役割・北上地区防災集団移転促進事業・漁集事業・低平地整備事業概要・平成29年度各施設整備状況・パークゴルフ場整備計画・石巻市北上観光物産交流センター開所式に参加(2月11日) (牡鹿) まちづくり委員会の役割・牡鹿総合支所管内の復興状況・パークゴルフ場整備事業について (全体) ローカルベンチャー講演会「地方を知るものが勝つ」に出席(3月21日)</p>										
成果に係る評価	平成29年度は新しく第7期の委員になり、各委員会において3回～4回開催し、まちづくりや復興事業について協議を重ね、地域のまちづくりに活かされている。 また、新施設の開所式や、3月に開催されたローカルベンチャー講演会への出席など、まちづくりに関する事業にも積極的に参加し、地域の活性化に対する意欲が感じられた。 今後も各地域のまちづくり施策についての審議を重ねながら、地域活性化を図るため、委員会を継続する必要がある。										
	(単位：円)										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源					
	3,172,000	1,988,288				1,988,288					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																		
	1 項	総務管理費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																		
	7 目	地域振興費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																		
実施計画掲載ページ		P69	中 事 業	結婚支援事業費																					
事業コード		004-003-001-01089	事 業 名	結婚支援事業																					
目的及び事業内容		<p>本市の少子化対策の一環としての結婚支援事業に取り組み、結婚へと繋げる出会いの場を提供し、各種事業の実施や交際に至るまでを支援する。 また、講習セミナーを行うことで、独身者の結婚に対する関心を高め、結婚意識の向上を促進する。</p>																							
取組実績	1 市主催婚活イベント事業内容																								
	(1) 参加者募集(定員男女各30名:25歳以上から45歳以下※男性のみ市内在住 参加費:男性5,000円、女性3,000円)																								
	(2) 婚活事前セミナー ア 開催日:平成29年10月21日(土) 会場:市役所4階庁議室 参加者:11名(男性) イ 開催日:平成29年10月28日(土) 会場:IRORI石巻 参加者:50名(男・女)																								
	(3) 婚活イベント:平成29年10月28日(土) 会場:IRORI石巻、COMICHI石巻 内容:自己紹介、フリータイム、カップリングタイム																								
成 果	(4) 講習セミナー ア 開催日:平成30年3月18日(月) 会場:市役所4階庁議室 参加者:13名(女性) ※内容:メイクアップセミナー (パーソナルカラー、スキンケア、ベースメイク体験) イ 開催日:平成30年3月19日(月) 会場:市役所6階第3・4委員会室 参加者:21名(男性) ※内容:ファッションセミナー (スタイリング、カラー選び、トータルコーディネート)																								
	<p>婚活パーティーにおいては、参加総数の半数以上にあたる15組ものカップルが誕生した。 (平成27年度6組、平成28年度1回目7組、2回目9組) 特に、女性参加募集については、市報や無料情報誌などの広報を使った結果、女性参加者も多く参加された。 講習セミナーでは男性は自分に似合う服装の選定講習を行い、女性はきめ細やかなメイク方法など、大変好評であった。</p>																								
	<p>婚活パーティー実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">婚活パーティー</th> </tr> <tr> <th>募集</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>30名</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>30名</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>60名</td> <td>51名</td> </tr> </tbody> </table>											区分	婚活パーティー		募集	参加	男性	30名	24名	女性	30名	27名	合計	60名	51名
	区分	婚活パーティー																							
募集		参加																							
男性	30名	24名																							
女性	30名	27名																							
合計	60名	51名																							
<p>参加者の半数以上がカップル成立したが、実際に発展するまでには至らなかった。 今後は事前セミナー及びアフターフォローの充実を図る必要がある。 また、補助事業については、多くの団体が申請できるよう、様々な関係機関や団体に周知を図り、結婚支援事業を継続し、推進することが必要である。 なお、平成28年11月に開催した本市主催の婚活イベントでカップルになった1組が、平成29年12月に成婚に至った。</p>																									
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	4,056,000	2,260,568	1,022,000		198,000	1,040,568																			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	7 目	地域振興費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 32、P 33	中 事 業		国内姉妹都市・友好都市交流推進費			
事業コード		002-003-001-00019、00020、01194	事 業 名		国内姉妹都市・友好都市交流事業			
目的及び事業内容		茨城県ひたちなか市とは平成18年2月に姉妹都市を締結、山形県河北町とは平成18年1月及び山口県萩市とは平成28年4月に友好都市を締結しており、各市町との連携を深め、友好協力関係を促進すると共に、産業・文化・歴史など双方の特性を生かした交流事業と地域の活性化を図ることを目的とする。						
取 組 実 績		<p>【山口県萩市との交流】</p> <p>1 山口県萩市・石巻市友好都市締結記念イベント</p> <p>(1) 歴史探訪 川村孫兵衛重吉「ゆかりの地」を巡ろう！(スタンプラリー)</p> <p>ア 日 程：平成29年7月21日～8月31日</p> <p>イ 場 所：石巻市内、萩市内</p> <p>ウ 参加者：石巻市222名、萩市60名 計282名</p> <p>(2) 友好都市締結記念山口県萩市物産展</p> <p>ア 日 程：平成30年1月28日 午前9時～午後5時</p> <p>イ 場 所：イトーヨーカドー 石巻あけぼの店</p> <p>ウ 来場者：約1000名</p> <p>エ 内 容：萩市特産品の販売（18種類）、萩市及び両市の繋がりを紹介するパネル展示</p> <p>【山形県河北町との交流】</p> <p>1 友好都市山形県河北町さくらんぼ狩りツアー</p> <p>(1) 日 程：平成29年6月25日</p> <p>(2) 場 所：山形県河北町 天心園、ひなの湯、道の駅寒河江チェリーランド、最上川ふるさと総合公園</p> <p>(3) 参加者：市民119名、随行者5名 計124名</p> <p>(4) 内 容：さくらんぼ狩り、町内名所巡り</p> <p>2 大漁まつり見学ツアー</p> <p>(1) 日 程：平成29年10月15日</p> <p>(2) 場 所：石巻魚市場、いしのまき元氣いちば、道の駅「上品の郷」</p> <p>(3) 参加者：山形県河北町市民76名、随行者4名 計80名</p> <p>(4) 内 容：大漁まつり見学、山形河北町特産品のラ・フランスやりんごを販売「ご当地鍋共演」では山形県河北町の「納豆汁」を販売 いしのまき元氣いちばにて見学・買物 道の駅「上品の郷」にて収穫祭、はねこ踊りの見学、買物</p> <p>【茨城県ひたちなか市との交流】</p> <p>隔年交流となっており、平成29年度の交流事業は未実施</p>						
成 果		<p>【山口県萩市】平成28年度は、両市が連携したスタンプラリー及び萩市の物産展を実施した事により、友好都市関係を市民へ広く周知すると共に、相互理解の促進が図られた。</p> <p>【山形県河北町】さくらんぼ狩りツアー及び大漁まつり見学ツアーを通じ双方の市民の相互理解が深まると共に、両市町民の交流と友好が深まった。</p>						
成果に係る評価		<p>【山口県萩市】スタンプラリー及び萩市物産展の実施により、市民に広く友好都市締結の周知が図れたと共に相互理解にも繋がったことから、今後も継続して事業を行い、市民同士の友好関係と両市の地域活性化に向け更なる事業の充実が必要である。</p> <p>【山形県河北町】各ツアーや物産交流を通じ両市民の友好関係が深まり地域活性化も図れたことから、今後も様々な分野での交流事業を継続する必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	860,914		557,505					557,505

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第6章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第1節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		( )	
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		( )	
実施計画掲載ページ		P 115	中 事 業		地域交流・定着支援等事業費			
事業コード		006-001-001-01090	事 業 名		移住対策事業〔地方創生〕			
目的及び事業内容		<p>本事業は、市外の移住希望者への情報提供や相談対応を行う移住コンシェルジュの設置や地方での起業を考えている方を対象とした人材育成事業、そして移住者への交流の機会を提供する移住交流事業を実施し、確実な定住につなげ人口増加を図る。</p> <p>また、全国の志を同じくする10自治体で構成するローカルベンチャー推進協議会を設立し、首都圏等から人材を獲得し、起業志望者に人材育成支援を行うことで、本市で起業し、定住・定着を図る。</p>						
取 組 実 績		<p>1 スマートな地域資源活用創造(プロデュース)事業委託業務 期間：H29/4/1～H30/3/31</p> <p>(1) 移住コンシェルジュ設置(コンシェルジュ2名体制、移住相談件数45名、移住者14名)</p> <p>ア 移住相談窓口の設置(情報の提供、首都圏等でPR)</p> <p>イ 移住体験ツアー(企画名：ウミネコキャラバン、開催回数：3回、参加者数：42名)</p> <p>(2) 石巻チャレンジワーキング</p> <p>ア 地元で起業した代表者を講師で招いた研修会(開催回数：5回、参加者数：101名)</p> <p>イ 起業志望者を対象とした体験型事業(開催回数：1回、参加者数：26名)</p> <p>(3) 石巻版松下村塾</p> <p>ア 起業型人材育成講座(講座回数：4回、参加者数：34名)</p> <p>(4) 地域交流・定着支援事業</p> <p>ア 本市に移住した者、地域住民との交流会(開催回数：6回、参加者数：218名)</p> <p>(5) 空き家活用・移住促進事業</p> <p>ア 本市の移住事業に参加する者が一時的滞り場所の確保</p> <p>改修物件：①石巻市千石町1-28・延べ床面積48.4㎡、②石巻市千石町2-1・延べ床面積41.3㎡</p> <p>改修完成：H30.2.6</p> <p>2 地域活躍支援推進事業委託業務 期間：H29/4/1～H30/3/31</p> <p>(1) 移住・定住総合情報発信</p> <p>ア 起業志望者向けホームページ・求人情報サイトの開設</p> <p>(2) 総合調整管理業務(コンソーシアム「ハグクミ」の各事業の調整、会議等の日程調整業務)</p> <p>3 ローカルベンチャー関連事業</p> <p>・協議会名：ローカルベンチャー推進協議会(H28年9月7日設立)</p> <p>・参加自治体数：10自治体(平成29年度から石川県七尾市と島根県雲南市が参画)</p> <p>内訳：岡山県西栗倉村(代表幹事)、岩手県釜石市(副代表幹事)北海道厚真町、下川町、石川県七尾市、島根県雲南市、徳島県上勝町、宮城県日南市、宮城県気仙沼市、石巻市</p> <p>(1) メディア・人材マッチング</p> <p>ア 地域仕掛け人市 開催日H29/9/30 場所：東京都 参加者400名</p> <p>イ ローカルシフト(釜石・気仙沼・石巻合同開催) 開催日H29/11/19 場所：仙台市 参加者80名</p> <p>ウ ローカルベンチャーサミット 開催日H30/1/25 場所：東京都 参加者150名</p> <p>エ ローカルベンチャーイニシアティブ 開催日H30/2/24 場所：東京都 参加者150名</p> <p>(2) 起業家型人材育成</p> <p>ア 起業型人材育成事業構想力養成講座 開催日H29/9/23・24 場所：市内 参加者7名</p> <p>(3) 事業成長支援(協議会参画自治体職員対象研修)</p> <p>ア 自治体合同合宿 石巻市開催 H29/8/23・24・石川県七尾市開催 H30/2/12～14</p> <p>イ コーディネーター研修 開催日H29/8/9・10 場所：東京都</p> <p>4 ローカルベンチャー推進協議会ローカル事務局委託業務 期間：H29/4/1～H30/3/31</p> <p>(1) ローカルベンチャー関連事業の推進を図るため、ローカル事務局を設置</p> <p>5 ローカルベンチャー講演会実施業務 期間：H30/2/23～H30/3/21</p> <p>(1) 移住交流事業やローカルベンチャー関連事業を周知するため、地域づくりやベンチャーに詳しい著名人を招いて開催(開催日H30/3/21 場所：庁議室 参加者79名 講師：放送作家の関秀彦氏)</p>						
成 果		<p>移住コンシェルジュを設置し、首都圏でのPRの実施。相談者数45名、うち14名が本市への移住に繋がった。また、人材育成事業においては、都内で地元起業家を講師で招いて起業志望者を対象とした研修会を開催し、本市での起業に対する意欲向上を図ったほか、起業型人材育成講座を開催した。</p>						
成果に係る評価		<p>移住相談窓口、人材育成、定住・定着支援及び空き家活用を総合的に推進することで、市外からの人材誘致が図られる。さらにローカルベンチャー関連事業と連携することで人材誘致の加速化とともに、地域活性化が図られるので、事業を継続する必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	62,118,000		61,021,391		29,965,485			31,055,906



予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第 節			( )	
	7 目	地域振興費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	地域振興関係費				
事業コード			事 業 名	地域おこし協力隊設置事業				
目的及び事業内容		<p>地域振興及び地域活性化に資する市外の人材を積極的に受け入れながら、本市への定住・定着、そして起業につなげるため、国の制度を活用した「石巻市地域おこし協力隊」を設置。</p> <p>本事業は、三大都市圏や政令指定都市から地域活性化に資する人材を募集し、隊員の受入を希望する事業者に就労しながら定住・定着を図る。受入事業者は、雄勝・北上・牡鹿の地域活性化に関する事業のほか、観光振興、医療・介護・介護予防及び生活支援に関する事業や6次産業化等の分野とした。なお、隊員の任期は最長3年間である。</p>						
取組実績		<p>1 地域おこし協力隊受入事業者選定</p> <p>(1) 1次募集</p> <p>ア 募集期間：平成29年4月3日～4月28日</p> <p>イ 応募事業者数：5事業者</p> <p>ウ 最終選考会：平成29年5月30日 会場：第3・4委員会室</p> <p>エ 合格事業者数：3事業者</p> <p>(2) 2次募集</p> <p>ア 募集期間：平成29年9月15日～10月10日</p> <p>イ 応募事業者数：6事業者</p> <p>ウ 最終選考会：平成29年11月20日 会場：第3・4委員会室</p> <p>エ 合格事業者数：2事業者</p> <p>2 地域おこし協力隊募集</p> <p>(1) 募集開始：平成29年7月1日開始</p> <p>(2) 募集方法：ホームページ、移住関係サイトへの掲載、起業家向け求人サイトへの掲載、首都圏で開催するイベントでPR</p> <p>3 地域おこし協力隊員の配置</p> <p>(1) 面接日：平成29年8月22日</p> <p>(2) 受験者：関東圏在住者、20代、男性</p> <p>(3) 委嘱状交付式：平成29年9月20日（協力隊員として委嘱）</p> <p>(4) 業種：観光振興</p>						
成果		<p>6次産業化事業、観光振興事業、医療・介護・介護予防及び生活支援に関する事業、雄勝・北上・牡鹿地域の活性化に関する事業の 카테고리の中から、受入事業者を選定して地域おこし協力隊員を募集し、1名の隊員を委嘱し、受入事業者へ配置した。受入事業者に従事しながら、地域の事業を創出し課題解決に向けて地域の活性化に寄与している。</p>						
成果に係る評価		<p>地域おこし協力隊員の定住・定着・起業を図るためには、受入体制、事業性、成長機会の提供など受入事業者の理解と受入体制が重要と考えられるため、受入事業者に対して、丁寧な説明と十分な理解を得ることが必要である。</p> <p>協力隊員の募集については、これまで掲載していない移住関係サイトへの掲載、首都圏で開催するイベントへ積極的に募集情報をPRするなど努める。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,873,000	4,873,000				4,873,000		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	( )													
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		( )													
	8 目	離島振興費		( 2 )	離島の交通手段を確保する		( )													
実施計画掲載ページ		P124	中 事 業	離島振興対策費																
事業コード		006-004-002-00015	事 業 名	離島航路維持事業																
目的及び事業内容		<p>離島住民の生活を支える離島航路の安定的な運航に資するため、航路事業者への経営安定や欠損に対する支援及び島民への運賃割引を実施する。また、離島の夜間救急患者搬送に対応するため、船舶の田代島待機に対する支援を実施する。</p>																		
取組実績		<p>1 離島航路維持費補助金の交付 離島航路事業者が安全で安定的な航路運営を実現するため、国、県と協調しながら、補助金を交付した。</p> <p>2 離島住民運賃割引の実施に対する補助金の交付 島民唯一の公共交通機関として、利便性を高めることを目的に運賃割引を実施し運賃収入欠損分について支援を行った。</p> <p>3 田代島緊急医療対策補助金の交付 夜間緊急医療対策における患者の緊急搬送を行うため、田代島へ船舶及び船員を待機させる費用を航路事業者に補助金として交付した。</p>																		
成果		<p>島内の人口は、年々減少しており、過疎、高齢化の影響により島民の輸送人員は減少しているが、網地島白浜海水浴場の再開などの観光施設の復旧、田代島の猫人気などにより、交流人口は震災前の水準を上回っており、4期連続で最終損益が黒字化し、安定した航路運航が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>離島航路利用者数</td> <td>61,949人</td> <td>68,578人</td> <td>85,553人</td> <td>94,376人</td> <td>90,876人</td> </tr> </table> <p>平成29年10月27日 網地港から夜間緊急搬送を実施し、容態の急変した患者を石巻港まで搬送した。 平成30年 3月 2日 長渡港から夜間緊急搬送を実施し、容態の急変した患者を鮎川港まで搬送した。</p>							主な指標項目	H25	H26	H27	H28	H29	離島航路利用者数	61,949人	68,578人	85,553人	94,376人	90,876人
主な指標項目	H25	H26	H27	H28	H29															
離島航路利用者数	61,949人	68,578人	85,553人	94,376人	90,876人															
成果に係る評価		<p>島民の唯一の公共交通機関としての役割を担っている一方、観光客等離島航路利用者の増加により、近年は利用者を順調に伸ばし、経営基盤が安定し、安心、安全な航路運営が実現されていることから、事業を継続する必要がある。</p> <p>また、平成29年度は2件の夜間緊急搬送実績もあり、引き続き、離島に住む方々の生活の安定と併せて、利用者の増加策を検討する。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	16,680,000	5,977,555	1,189,156			4,788,399														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	( )																																																													
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		( )																																																													
	9 目	地域交通費		( 1 )	だれもが移動可能な手段を確保する		( )																																																													
実施計画掲載ページ		P 123	中 事 業	地域交通対策関係費																																																																
事業コード	006-004-001-00011	事 業 名	住民バス運行費補助事業																																																																	
目的及び事業内容		路線バスの撤退等により交通不便地区となっている地域において、地域の足の確保として、住民主体の運行協議会を組織して運行している住民バス及び乗合タクシーの運行事業に対して運行費を補助し、地域交通の維持を図り、市民の日常生活における外出・移動を行えるよう支援する。																																																																		
取組実績		<p>市民の日常生活面での外出・移動手段を確保するため、住民バス及び乗合タクシー事業の運行主体である市内9地区の運行協議会に対して運行費補助をした。</p> <p>また、一部路線では防災集団移転団地への乗り入れのため経路変更を実施した。</p> <p>平成29年度運行協議会別補助金の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>運行主体</th> <th>運行形態</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>7,893,896円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>21,468,939円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>7,662,734円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>11,807,048円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>8,098,552円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>6,893,335円</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>荻浜地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>11,080,187円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>4,912,825円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>3,511,293円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>83,328,809円</td> </tr> </tbody> </table>							名 称	運行主体	運行形態	補助金額	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線	7,893,896円	雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線	21,468,939円	河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	7,662,734円	桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,807,048円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	8,098,552円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	6,893,335円	荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,080,187円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	4,912,825円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	デマンド運行	3,511,293円	合計			83,328,809円																
名 称	運行主体	運行形態	補助金額																																																																	
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線	7,893,896円																																																																	
雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線	21,468,939円																																																																	
河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	7,662,734円																																																																	
桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,807,048円																																																																	
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	8,098,552円																																																																	
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	6,893,335円																																																																	
荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	11,080,187円																																																																	
山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	4,912,825円																																																																	
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	デマンド運行	3,511,293円																																																																	
合計			83,328,809円																																																																	
成 果		<p>運行費を補助することで、住民バス及び乗合タクシーが安定して運行され、地域住民の日常生活における移動手段が確保されている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>4,917人</td> <td>1,621便</td> <td>4,845人</td> <td>1,647便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>9,065人</td> <td>7,598便</td> <td>9,464人</td> <td>7,636便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>4,412人</td> <td>2,823便</td> <td>4,802人</td> <td>3,143便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>7,637人</td> <td>2,310便</td> <td>8,662人</td> <td>2,342便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>7,397人</td> <td>1,446便</td> <td>7,782人</td> <td>1,440便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>9,301人</td> <td>4,420便</td> <td>8,840人</td> <td>4,420便</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>5,787人</td> <td>1,450便</td> <td>5,287人</td> <td>1,444便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>9,465人</td> <td>5,498便</td> <td>9,759人</td> <td>5,561便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>7,521人</td> <td>4,312便</td> <td>7,577人</td> <td>4,328便</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>65,502人</td> <td>31,478便</td> <td>67,018人</td> <td>31,966便</td> </tr> </tbody> </table>							名 称	H28		H29		利用者数	便数	利用者数	便数	河北地区住民バス	4,917人	1,621便	4,845人	1,647便	雄勝地区住民バス	9,065人	7,598便	9,464人	7,636便	河南地区乗合タクシー	4,412人	2,823便	4,802人	3,143便	桃生地区住民バス	7,637人	2,310便	8,662人	2,342便	北上地区住民バス	7,397人	1,446便	7,782人	1,440便	稲井地域乗合タクシー	9,301人	4,420便	8,840人	4,420便	荻浜地区住民バス	5,787人	1,450便	5,287人	1,444便	山の手地区乗合タクシー	9,465人	5,498便	9,759人	5,561便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	7,521人	4,312便	7,577人	4,328便	合計		65,502人	31,478便	67,018人	31,966便
名 称	H28		H29																																																																	
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																																
河北地区住民バス	4,917人	1,621便	4,845人	1,647便																																																																
雄勝地区住民バス	9,065人	7,598便	9,464人	7,636便																																																																
河南地区乗合タクシー	4,412人	2,823便	4,802人	3,143便																																																																
桃生地区住民バス	7,637人	2,310便	8,662人	2,342便																																																																
北上地区住民バス	7,397人	1,446便	7,782人	1,440便																																																																
稲井地域乗合タクシー	9,301人	4,420便	8,840人	4,420便																																																																
荻浜地区住民バス	5,787人	1,450便	5,287人	1,444便																																																																
山の手地区乗合タクシー	9,465人	5,498便	9,759人	5,561便																																																																
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	7,521人	4,312便	7,577人	4,328便																																																																
合計		65,502人	31,478便	67,018人	31,966便																																																															
成果に係る評価		<p>住民バス及び乗合タクシーの運行により交通空白地の解消が図られ、地域住民の足が確保されており、被災者対応として運賃の引き下げや一部路線での路線延長を継続することで、被災者の負担軽減及び利便性向上が図られている。</p> <p>また、防災集団移転や復興住宅の建設に対応した経路への変更も適宜実施しているが、仮設住宅からの退去が進んでおり、被災者支援としての運賃引き下げや路線延長の被災者対応の継続についても検討が必要である。</p>																																																																		
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	84,827,000	83,328,809	30,295,086			53,033,723																																																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	( )																											
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		( )																											
	9 目	地域交通費		( 1 )	だれもが移動可能な手段を確保する		( )																											
実施計画掲載ページ		P 123	中 事 業	牡鹿地区市民バス運行事業費																														
事業コード	006-004-001-00012	事 業 名	牡鹿地区市民バス運行事業																															
目的及び事業内容		<p>牡鹿地区においては、路線バスや住民バスが運行されていない交通空白地であり、網地島を含めて市が運行主体となり市民バスを運行することで、通院・買物等の日常生活面の外出・移動を支援する。また、小学生の安全な通学手段を確保するために市民バスの活用を図る。</p>																																
取組実績		<p>下記路線において、市民バスの運行を実施した。</p> <p>平成29年度では各地区の防災集団移転の宅地造成に伴い、主要道路から団地内へ乗り入れするものとし、利用者の利便性の向上を図るため、運行経路の変更を実施した。</p> <p>運行概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="3">運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>平日 13便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>日・祝日・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>平日 7便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>日・祝日・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>泊～大原線</td> <td>平日 1便/日</td> <td>土・日・祝日・年末年始は原則運休</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td colspan="3">4便/日 年末年始は運休</td> </tr> </tbody> </table> <p>防災集団移転団地への乗り入れ地区 小網倉・大原・大谷川・谷川・給分・十八成・寄磯・新田の各団地において、団地内にバス停を設置し、利便性向上を図った。</p>							路線名	運行状況			寄磯～鮎川線	平日 13便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休	泊～清優館線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休	泊～大原線	平日 1便/日	土・日・祝日・年末年始は原則運休		網地島線	4便/日 年末年始は運休								
路線名	運行状況																																	
寄磯～鮎川線	平日 13便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休																															
泊～清優館線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休																															
泊～大原線	平日 1便/日	土・日・祝日・年末年始は原則運休																																
網地島線	4便/日 年末年始は運休																																	
成 果		<p>地域住民の移動手段が市民バスの運行により確保され、日常生活における外出・移動支援が図られた。また、スクールバスとしての機能を果たしており、安全な小学生の通学手段として活用されている。</p> <p>市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>17,229人</td> <td>16,195人</td> <td>15,760人</td> </tr> <tr> <td>教育目的利用</td> <td>9,321人</td> <td>8,907人</td> <td>9,424人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>26,550人</td> <td>25,102人</td> <td>25,184人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>7,068便</td> <td>7,208便</td> <td>7,259便</td> </tr> </tbody> </table> <p>○教育目的利用区間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>利用区間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>寄磯～小淵(上り4便、下り4便)</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)</td> </tr> </tbody> </table>								H27	H28	H29	一般利用	17,229人	16,195人	15,760人	教育目的利用	9,321人	8,907人	9,424人	利用者数合計	26,550人	25,102人	25,184人	運行便数	7,068便	7,208便	7,259便	路線名	利用区間	寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り4便、下り4便)	泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)
	H27	H28	H29																															
一般利用	17,229人	16,195人	15,760人																															
教育目的利用	9,321人	8,907人	9,424人																															
利用者数合計	26,550人	25,102人	25,184人																															
運行便数	7,068便	7,208便	7,259便																															
路線名	利用区間																																	
寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り4便、下り4便)																																	
泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)																																	
成果に係る評価		<p>牡鹿地区の人口減少に伴い、一般利用者は減少している状況である。</p> <p>平成29年度で運行経路を変更して防災集団移転団地への乗り入れ等を実施することで、利用者の利便性向上、移動手段を持たない交通弱者の通院・買い物の移動手段として活用され、地域住民の足として重要な役割を果たしている。</p> <p>また、復興事業の進展による大型車両の往来が多くなっていることから、教育目的での利用は増加しており、小学生の安全な通学手段としての機能が確保されている。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	31,058,010	30,919,481	368,000		1,181,760	29,369,721																												

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	( )																																																																	
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を交える公共交通を確保する		( )																																																																	
	9 目	地域交通費		( 1 )	だれもが移動可能な手段を確保する		( )																																																																	
実施計画掲載ページ		P 123	中 事 業	地域交通対策関係費																																																																				
事業コード	006-004-001-00010	事 業 名	路線バス運行維持対策補助事業																																																																					
目的及び事業内容	<p>市民の通勤、通学、通院、買い物といった日常生活上の移動手段を確保するため、市内中心部と市内各エリアを結ぶ路線バスの運行主体である株式会社ミヤコーバスに対して、運行費を補助することで、安定したバス運行及び路線の維持を図り、誰もが利用しやすい交通ネットワークの構築を目指す。</p> <p>また、広域路線として合併前の旧市町を結び運行している路線は、国庫補助対象路線であり、国、県と協調補助を行う。</p>																																																																							
取組実績	<p>路線バスの運行主体に対し、バス路線の維持及び安定した運行が図れるよう運行費の補助を実施した。また、新規市内路線として新渡波地区（さくら町）を運行する鹿妻線（石巻駅～イオンスーパーセンター石巻東店）を平成29年10月より運行開始した。</p> <p>平成29年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>運行経路</th> <th>補助の別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女川線</td> <td>石巻駅前～渡波駅前～女川運動公園前</td> <td>国庫</td> <td>1,507,000円</td> </tr> <tr> <td>鮎川線</td> <td>石巻駅前～渡波駅前～鮎川港</td> <td>国庫</td> <td>9,108,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～飯野川</td> <td>国庫</td> <td>6,299,457円</td> </tr> <tr> <td>石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館</td> <td>市単独</td> <td>4,364,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻免許センター線</td> <td>石巻駅前～免許センター～石巻駅前</td> <td>国庫</td> <td>997円</td> </tr> <tr> <td>三陸線</td> <td>石巻駅前～日赤病院～飯野川</td> <td>国庫</td> <td>10,494,167円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">河南線</td> <td>石巻営業所～イオン石巻～河南総合支所</td> <td>国庫</td> <td>8,535,287円</td> </tr> <tr> <td>石巻駅前～蛇田～イオン石巻</td> <td>自主運行</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">石巻市内線</td> <td>石巻駅前～山下～門脇～石巻駅前</td> <td>市単独</td> <td>1,834,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻営業所～清水町～日赤病院</td> <td>市単独</td> <td>1,166,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日赤・渡波線</td> <td>渡波駅前～石巻駅前～日赤病院</td> <td>自主運行</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>石巻駅前～筒場～渡波駅前</td> <td>自主運行</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>中里線</td> <td>石巻駅前～中里～日赤病院</td> <td>市単独</td> <td>5,520,000円</td> </tr> <tr> <td>渡波線</td> <td>石巻駅前～鹿妻～渡波駅前</td> <td>市単独</td> <td>3,877,000円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻線</td> <td>石巻駅前～鹿妻～イオン石巻東</td> <td>市単独</td> <td>5,789,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>58,494,908円</td> </tr> </tbody> </table>								路線名	運行経路	補助の別	補助金額	女川線	石巻駅前～渡波駅前～女川運動公園前	国庫	1,507,000円	鮎川線	石巻駅前～渡波駅前～鮎川港	国庫	9,108,000円	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	国庫	6,299,457円	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	市単独	4,364,000円	石巻免許センター線	石巻駅前～免許センター～石巻駅前	国庫	997円	三陸線	石巻駅前～日赤病院～飯野川	国庫	10,494,167円	河南線	石巻営業所～イオン石巻～河南総合支所	国庫	8,535,287円	石巻駅前～蛇田～イオン石巻	自主運行	0円	石巻市内線	石巻駅前～山下～門脇～石巻駅前	市単独	1,834,000円	石巻営業所～清水町～日赤病院	市単独	1,166,000円	日赤・渡波線	渡波駅前～石巻駅前～日赤病院	自主運行	0円	石巻駅前～筒場～渡波駅前	自主運行	0円	中里線	石巻駅前～中里～日赤病院	市単独	5,520,000円	渡波線	石巻駅前～鹿妻～渡波駅前	市単独	3,877,000円	鹿妻線	石巻駅前～鹿妻～イオン石巻東	市単独	5,789,000円			合計	58,494,908円
	路線名	運行経路	補助の別	補助金額																																																																				
	女川線	石巻駅前～渡波駅前～女川運動公園前	国庫	1,507,000円																																																																				
	鮎川線	石巻駅前～渡波駅前～鮎川港	国庫	9,108,000円																																																																				
	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	国庫	6,299,457円																																																																				
		石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	市単独	4,364,000円																																																																				
	石巻免許センター線	石巻駅前～免許センター～石巻駅前	国庫	997円																																																																				
	三陸線	石巻駅前～日赤病院～飯野川	国庫	10,494,167円																																																																				
	河南線	石巻営業所～イオン石巻～河南総合支所	国庫	8,535,287円																																																																				
		石巻駅前～蛇田～イオン石巻	自主運行	0円																																																																				
石巻市内線	石巻駅前～山下～門脇～石巻駅前	市単独	1,834,000円																																																																					
	石巻営業所～清水町～日赤病院	市単独	1,166,000円																																																																					
日赤・渡波線	渡波駅前～石巻駅前～日赤病院	自主運行	0円																																																																					
	石巻駅前～筒場～渡波駅前	自主運行	0円																																																																					
中里線	石巻駅前～中里～日赤病院	市単独	5,520,000円																																																																					
渡波線	石巻駅前～鹿妻～渡波駅前	市単独	3,877,000円																																																																					
鹿妻線	石巻駅前～鹿妻～イオン石巻東	市単独	5,789,000円																																																																					
		合計	58,494,908円																																																																					
成 果	<p>全体的に利用者が減少していることから、運賃収入の減少に伴い、運行費補助金が増額している。しかし、いずれの路線も日常生活における移動手段確保のためにも欠かせない路線であり、バス路線を維持していくことが必要で、路線バスの運行事業者に対して運行費補助を実施することで、安定した路線バスの運行が確保されている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>10路線14系統</td> <td>10路線14系統</td> <td>11路線15系統</td> </tr> <tr> <td>うち国庫補助対象路線数</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> </tr> </tbody> </table>								年度	H27	H28	H29	路線数	10路線14系統	10路線14系統	11路線15系統	うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																				
年度	H27	H28	H29																																																																					
路線数	10路線14系統	10路線14系統	11路線15系統																																																																					
うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																																					
成果に係る評価	<p>地域公共交通ネットワーク構築のためには、路線バスの役割は重要であり、日常生活面における交通手段確保のためにも路線維持が必要である。</p> <p>利用者が減少している状況ではあるが、今後も持続的にバス路線を維持していくためには、変化する居住エリアに対応した路線再編、利用状況を勘案したダイヤの設定などを行い、効果的かつ効率的な運行により利便性の向上を図り、乗車率の向上に努めていく。</p>																																																																							
(単位：円)																																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																					
	59,082,000	58,494,908	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	10,000,000	48,494,908																																																																

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	( )																			
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		( )																			
	10 目	男女共同参画推進費		( 3 )	男女共同参画社会を構築する		( )																			
実施計画掲載ページ		P 14	中 事 業	男女共同参画推進費																						
事業コード	001-002-003-00017	事 業 名	男女共同参画推進事業																							
目的及び事業内容	<p>男性も女性もすべての個人が社会の対等な構成員として、自らの意思によってあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、政治的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担う男女共同参画社会の実現を目指し、総合的かつ計画的に推進するため、石巻市男女共同参画基本計画の進行管理及び女性人材育成事業や啓発事業を実施する。</p>																									
取組実績	<p>1 石巻市男女共同参画基本計画（第2次 平成23～28年度）の進捗管理 各課における男女共同参画推進事業の取組実績と成果を取りまとめ、男女共同参画推進審議会へ諮問し評価をいただいた。</p> <p>2 男女共同参画推進事業の実施 石巻市男女共同参画基本計画（第3次 平成29～32年度）に基づき事業を実施した。  (1) 男女共同参画週間啓発事業の実施 企業へ各事業の周知、P Rカード配布等  (2) 市内事業所と協働し「イクボス研修」の実施  (3) 高校生のための人権教室 桜坂高校（1～3学年）で実施  (4) 市職員研修「女性の活躍推進研修」「性的マイノリティ研修」  (5) 出前講座「男女共同参画の実現にむけて」の実施  (6) 男女共同参画便り「ともに」年3回発行  (7) 「男女共同参画の視点による防災リーフレット」作成</p> <p>3 女性の人材育成や能力向上のための各種セミナーの実施  (1) 女性人材育成セミナー「自分を変えるチャンスは目の前！プレミアム☆ウーマン」  (2) 石巻市男女共創セミナー「自分の強みの活かし方」※人材リスト登録者フォローアップ研修  (3) 女性起業家育成セミナー「Eyes for Future by ランコム」※NPO・企業と共催  (4) 石巻市女性人材リストの整備、新規登録者の募集</p> <p>4 DV予防啓発講座等の実施  (1) 被災地におけるDV予防啓発講座の実施（2回）※宮城県主催  (2) 東日本大震災による女性のための面接相談事業の実施※内閣府主催  (3) 「東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業」相談員研修</p>																									
	成 果	<p>庁内において審議会等の女性の登用促進を図り、女性人材リストの活用を呼びかけた。また、各種セミナーにおいて、女性人材リスト登録の呼び掛けを行い、登録者に対してはセミナーや委員募集などの情報提供を行うなど、登録者の活動の場が広がるよう啓発を行った。</p> <p>男女共同参画基本計画（第3次）においては、庁内の審議会等の女性委員割合目標40%であるが、平成29年度実績は26.5%だった。女性人材リストの登録者は、昨年より1人増え146人となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標：審議会等の女性委員の割合</th> <th rowspan="2">女性人材リスト登録者数</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>40.0%</td> <td>25.5%</td> <td>137人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>40.0%</td> <td>26.3%</td> <td>145人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>40.0%</td> <td>26.5%</td> <td>146人</td> </tr> </tbody> </table>								区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		女性人材リスト登録者数	目標値	実績等	H27	40.0%	25.5%	137人	H28	40.0%	26.3%	145人	H29	40.0%	26.5%
区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		女性人材リスト登録者数																							
	目標値	実績等																								
H27	40.0%	25.5%	137人																							
H28	40.0%	26.3%	145人																							
H29	40.0%	26.5%	146人																							
成果に係る評価	<p>女性人材リスト登録者に対して、フォローアップ研修や情報提供を実施し、スキルアップ及び意識啓発が図られた。</p> <p>第3次計画には女性活躍推進計画とDV防止計画が包含されており、新規事業として「性的マイノリティ研修」や「東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業」相談員研修を実施し、性別等による差別など人権尊重への意識の向上が図られた。</p> <p>審議会等における女性委員の登用率は、男女のあらゆる意思決定の場への共同参画が図られるため重要であることから、なお一層積極的に取り組む必要がある。</p>																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
	1,170,000	1,033,675	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		1,033,675																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																			
	1 項	総務管理費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																			
	10 目	男女共同参画推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																			
実施計画掲載ページ		P 69	中 事 業	男女共同参画推進費																						
事業コード		004-003-001-01127	事 業 名	子育てパパ育成事業																						
目的及び事業内容		<p>本事業では、これまで育児参加の推進が進まなかった男性（父親）を対象として、体験を含めた講習会等を実施し、育児に対する男性の意識改革を図り、夫婦ともに仕事、家事、育児等を両立させる意識を醸成することで、女性の社会進出、女性の活躍促進にもつながることを目的とする。</p>																								
取組実績		<p>市内の事業所1か所と市職員を対象に、合計2回のイクメン講習会を開催し、事業実施に当たっては、助産師を講師に迎え連携し研修することで、実践的・効果的な実施を図るとともに、企業等の協力を得て、事業所において研修の一環として実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施日</th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="2">参加人数</th> </tr> <tr> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30.2.9</td> <td>石巻赤十字病院職員</td> <td>18人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>H30.3.20</td> <td>市職員</td> <td>37人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>55人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>							実施日	対象	参加人数		男性	女性	H30.2.9	石巻赤十字病院職員	18人	8人	H30.3.20	市職員	37人	5人		合計	55人	13人
実施日	対象	参加人数																								
		男性	女性																							
H30.2.9	石巻赤十字病院職員	18人	8人																							
H30.3.20	市職員	37人	5人																							
	合計	55人	13人																							
成 果		<p>講義だけでなく、妊婦ジャケットの着用や、赤ちゃん抱っこ体験により、妊婦の大変さを体感してもらったとともに、独身男性に結婚・出産・育児を身近に感じてもらい、また子どものいる既婚男性には、子育ての大変さを理解し夫婦一緒に家庭と仕事の両立を考える機会ができ、父親の育児参加の理解が図られた。</p> <p>今年度は、石巻赤十字病院で新たに研修を実施したが、母親となっている職員が乳幼児と一緒に参加したことで身近な職員の赤ちゃんを実際に抱っこ体験し、独身男性にとっては貴重な経験となった。</p>																								
成果に係る評価		<p>本事業は、男性の子育て参加への意識の醸成を目的としているが、参加者アンケートなどから子育てに対する意識の向上に一定の効果が図られた。</p> <p>しかし、個人の意識改革だけでは社会全体の意識向上にはつながりにくく、こと職場の理解促進は重要な課題と感じている。企業においては男性の育児休業取得等の前例が少なく、取得に対しては職場及び上司の理解が必要で、企業の管理職の意識改革も必要と感じている。</p> <p>今後も市内事業所に対して事業の周知と参加の協力を得るなど、職場においても理解促進が図られるよう努めていきたい。</p> <p>また、子育て中でも働きやすい環境づくりや、子育て世代を社会全体で支えるまちづくりを推進する必要がある。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	267,000	267,000	133,500				133,500																			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )													
	1 項	総務管理費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )													
	10 目	男女共同参画推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )													
実施計画掲載ページ		P 68	中 事 業	男女共同参画推進費																
事業コード		004-003-001-01126	事 業 名	親になるための教育事業																
目的及び事業内容		<p>中学生を対象に父親・母親の疑似体験をすることにより、妊産婦への思いやりを育み、命の大切さ、子供を産み育てることの意義を理解させる。また、自分の将来像(結婚→妊娠→出産→育児)のイメージを浮かべながら、夫婦が共に育児に関わる必要性を啓発する。</p> <p>中学生の生徒に乳幼児との触れ合いを通じて、子を産み育てることの重要性を思春期において理解させ、中長期的な観点から、子育て世代を社会全体で支えるまちづくりを目指すものである。</p>																		
取組実績		<p>市内の実施希望中学校14校に対し実施し、合計977人の中学生が受講した。命の誕生から成長までの講義だけでなく、生徒一人ひとりが妊婦ジャケットの着用を行い、赤ちゃん人形を抱っこした。また、各校に親子が参加し、中学生が乳幼児とふれあう時間を設けた。</p> <p>今年度より、講座内容に性的マイノリティについても触れてもらい、性の多様性についての認識を深めてもらうよう努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校数</th> <th>生徒数(男/女)</th> <th>親子数(乳幼児数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>11校</td> <td>940人(478/462)</td> <td>104組(115人)</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>14校</td> <td>977人(504/473)</td> <td>109組(129人)</td> </tr> </tbody> </table>								学校数	生徒数(男/女)	親子数(乳幼児数)	H28	11校	940人(478/462)	104組(115人)	H29	14校	977人(504/473)	109組(129人)
	学校数	生徒数(男/女)	親子数(乳幼児数)																	
H28	11校	940人(478/462)	104組(115人)																	
H29	14校	977人(504/473)	109組(129人)																	
成 果		<p>平成29年度は実施校が3校増え、受講した生徒数も増加した。</p> <p>妊婦体験や乳幼児とのふれあいが中学生にとっては新鮮で、アンケートを実施した結果、満足度は高く、「親の大変さが分かった」や「生命の大切さを感じた」などの感想が寄せられた。</p> <p>特に乳幼児とのふれあいの時間は、生徒たちにとって有意義な体験となっている。</p> <p>また、累計延109組(乳幼児129人)の多くの親子に参加していただいた。その中にはお父さんの姿もあり、我が子との有意義な時間を過ごすことができたとの感想もいただいている。</p>																		
成果に係る評価		<p>生徒に対して実施したアンケートで、命の大切さ、子どもを育てることの喜びと大変さを学び、乳幼児とのふれあいを通して生命の重さを実感できたと高い評価が得られた。また、各中学校においても、助産師からの講義や赤ちゃんとのふれあいなど貴重な体験ができるという評価をいただき、年々実施する中学校も増加しているところからも理解され浸透してきたと感じられる。</p> <p>また、乳幼児にとっても家族以外の人とのふれあいは、社会性を身に着ける良い機会でもあると参加した母親からの意見もあった。</p> <p>多感な時期の中学生に、多様な性を含め、性に対する正しい知識の習得はその後のDVの防止や子育てに対する意識の醸成などにも波及すると考えられ、今後も継続していく必要がある。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	1,233,000	1,233,000	616,500				616,500													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	11 目	国際交流費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 33	中 事 業	国際交流推進費				
事業コード	002-003-001-00585	事 業 名	チビタベッキア市との姉妹都市交流事業					
目的及び事業内容	<p>支倉常長を始め慶長遣欧使節団による先人たちの偉業と両市の歴史を後世に継承すると共に、姉妹都市として両国並びに両市への相互理解と交流を深める。</p> <p>また、両市の将来を担う可能性豊かな子どもたちに異文化を経験する機会を与え国際感覚豊かな人材の育成を図る事を目的とする。</p> <p>新石巻市として平成25年7月8日に締結したチビタベッキア市との盟約書及び交流事業覚書に基づき、本市の高校生がチビタベッキア市を訪問し異文化体験及び交流を行う。</p>							
取組実績	<p>【青少年海外派遣交流事業】</p> <p>1 日程 平成29年3月23日～30日(6泊8日)</p> <p>2 イタリア共和国 チビタベッキア、ローマ</p> <p>3 参加者 市内在住高校生10名</p> <p>4 事業内容</p> <p>(1) 青少年文化交流の促進に係る協定書の締結</p> <p>(2) ホストファミリーを含むチビタベッキア市民との歓迎交流会</p> <p>(3) 石巻市高校生によるプレゼンテーション</p> <p>ア 震災支援の御礼</p> <p>イ 石巻市の紹介</p> <p>ウ 震災体験</p> <p>エ 高校生の学校生活</p> <p>オ 未来に向けての抱負</p> <p>(4) ホームステイの実施</p> <p>ア 日数 3泊4日</p> <p>イ ホームステイ対応家庭数 10家庭</p> <p>(5) 交流プログラム</p> <p>ア マルコーニ校の生徒と「日本語交流」</p> <p>イ スタンダード校(ホテル専門学校)にて「日本料理交流」</p> <p>ウ カラマータ校及び関係者と「ファッション交流/Yukataファッション・ショー」</p> <p>エ チビタベッキア市の高校・専門学校及び各施設の見学</p> <p>(6) イタリア大使館訪問 大使館の役割及び業務について講話聴講</p>							
成果	<p>○本市高校生によるプレゼンテーションにより、震災支援の御礼及び震災伝承ができたと共に、多くのチビタベッキア市民に本市についての理解を深めてもらう事が出来た。</p> <p>○先人達の偉業そしてチビタベッキア市と本市の繋がりを深く学ぶ事ができた。</p> <p>○参加高校生たちは、様々な交流プログラムや3泊4日のホームステイ体験を通し、イタリアそしてチビタベッキア市の文化や習慣を学び、国際感覚を豊かにする様々な経験が出来た。</p>							
成果に係る評価	<p>本事業は、本市の高校生及びチビタベッキアのホストファミリーを始めとする市民が姉妹都市である両市についての理解を深め、様々な交流や体験をすることができた。</p> <p>今まで築いてきた両市の絆をより深めることができた大変有意義な姉妹都市交流であったことから、両市の友好関係促進のため、次年度以降も交流事業の継続が必要である。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	6,319,979	6,319,979				6,319,979		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	11 目	国際交流費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 32	小 事 業	国際交流推進費				
事業コード	002-003-001-00018	事 業 名	温州市との友好都市交流事業					
目的及び事業内容	<p>日中両市の友好親善促進に寄与することを目的に、教育・文化の地域特性を活かした交流から市民の異文化に対する理解と認識を深める。</p> <p>また、地域の産業・経済の活性化にもつなげるとともに、国際社会に貢献する豊かな人間形成も目指す。</p>							
取組実績	<p>「2017年から2024年までにおける両市の友好交流計画に関する議定書」に基づき、平成29年度は以下の事業を行った。</p> <p>1 友好姉妹都市交流事業に係るマラソン選手受入事業</p> <p>(1) 招待選手2名(第3回いしのみき復興マラソン参加)、平成29年6月16日から19日の間(3泊4日)</p> <p>(2) 市内視察(日和山公園、石巻復興まちづくり情報交流館等)</p> <p>※震災のお礼と復興状況の説明</p>							
成果	<p>マラソン選手受入では、ハーフマラソンの部で442人中8位と10位の好成績を収めた。また、選手を囲んでの交流会では、石巻温州友好協会会員等との親睦を深め、交流が図られた。</p>							
成果に係る評価	<p>平成29年度は復興マラソン参加選手の受入を行い、相互理解と友好関係が築かれた。</p> <p>今後も行政間並びに市民間の交流を継続的にを行い、相互信頼関係を構築することが、両市の友好親善につながることから、事業を継続する必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	609,136	609,136				609,136		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の力でみんなで守る																																																
	11 目	国際交流費		( )		(4)	多文化共生社会の構築																																																
実施計画掲載ページ		P144	中 事 業	国際交流推進費																																																			
事業コード	001-201-004-00307	事 業 名	外国人相談窓口開設事業																																																				
目的及び事業内容	いしのみき多文化共生社会推進基本計画に基づき、本市に在住する外国人のために相談窓口を設置し、市役所での各種手続き（税金・年金・在留・子育て支援・医療助成・印鑑証明・証明書の翻訳等）のサポート、日本語支援教室、じゃばNeeds塾等の案内、専門相談機関の紹介等を行い、本市に暮らす外国人が安心して生活できるよう支援する。 ※相談窓口として、中国語、韓国語、英語、タガログ語の外国人相談員を毎週定期的に配置。																																																						
取 組 実 績	1 【開設状況】 (1) 月曜日：英語・タガログ語（フィリピン人通訳） (2) 火曜日：中国語（中国人通訳） (3) 水曜日：韓国語（韓国人通訳） 2 【開設場所】 (1) 復興政策部地域振興課内（市役所4階） 3 【内容】 (1) 行政手続き（国民健康保険、子育て・教育関係、各種証明書の申請など） (2) 生活に係る悩み相談（家庭内の悩みなどを含む） (3) その他相談 4 【本市在住外国人の状況】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>611人</td> <td>756人</td> <td>843人</td> <td>1,012人</td> <td>1,044人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H25	H26	H27	H28	H29	人数	611人	756人	843人	1,012人	1,044人																																				
	年度	H25	H26	H27	H28	H29																																																	
人数	611人	756人	843人	1,012人	1,044人																																																		
成 果	相談者の立場にたって親身な相談業務を行い、本市に暮らす外国人が日常生活を営む中で直面する各種手続き（教育、福祉、税金など）、市政情報の提供、専門相談機関の紹介、話し相手等、生活に密着した様々な問題に対応した。その結果、外国人が抱える生活不安の軽減が図られるとともに、外国人にとってより暮らしやすいまちづくりに寄与することができた。 外国人相談件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>46件</td> <td>36件</td> <td>39件</td> <td>36件</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table> 地域別内訳 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東アジア</td> <td>31件</td> <td>29件</td> <td>33件</td> <td>26件</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>東南アジア</td> <td>15件</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>8件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>オセアニア・北米・中南米</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>西・南アジア・アフリカ</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	H25	H26	H27	H28	H29	件 数	46件	36件	39件	36件	48件	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	東アジア	31件	29件	33件	26件	31件	東南アジア	15件	6件	5件	8件	6件	オセアニア・北米・中南米	0件	1件	1件	2件	9件	西・南アジア・アフリカ	0件	0件	0件	0件	0件	ヨーロッパ	0件	0件	0件	0件	2件
年 度	H25	H26	H27	H28	H29																																																		
件 数	46件	36件	39件	36件	48件																																																		
年 度	H25	H26	H27	H28	H29																																																		
東アジア	31件	29件	33件	26件	31件																																																		
東南アジア	15件	6件	5件	8件	6件																																																		
オセアニア・北米・中南米	0件	1件	1件	2件	9件																																																		
西・南アジア・アフリカ	0件	0件	0件	0件	0件																																																		
ヨーロッパ	0件	0件	0件	0件	2件																																																		
成果に係る評価	近年増加している外国人住民の暮らしが安心、安全であるように、生活に関する相談や心の相談等の窓口設置が必要である。さらに、外国人相談窓口をまだ知らない外国人に対して、ホームページやポスターの掲示などを通して相談窓口の周知を図ることが必要である。																																																						
（単位：円）																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
	648,000	633,150	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
						633,150																																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																								
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の力でみんなで守る																								
	11 目	国際交流費		( )		(4)	多文化共生社会の構築																								
実施計画掲載ページ		P144	中 事 業	国際交流推進費																											
事業コード	001-201-004-00308	事 業 名	日本語教室等開設事業																												
目的及び事業内容	本市に住む外国人が暮らしやすい環境を整えるために、日本語、日本の文化、生活様式を紹介し、外国人にとって安心して暮らしやすいまちとなるよう多文化共生社会の推進を図る。 日本語の学習支援や地域コミュニティに溶け込みやすい環境づくりの場として、日本語支援教室を開催する団体に補助金を交付するとともに、外国人に対する理解を深めるため「じゃばNeeds塾」を実施する。																														
取 組 実 績	1 外国人のための日本語支援教室への補助金交付 (1) 日本語支援教室（石巻在住一般外国人）【石巻中央公民館/日和が丘1-2-7】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>学習者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>39人</td> <td>13カ国</td> <td>41回</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>34人</td> <td>14カ国</td> <td>40回</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>30人</td> <td>9カ国</td> <td>39回</td> </tr> </tbody> </table> (2) 日本語支援教室（ベトナム人技能実習生）【石巻市総合福祉会館みなと荘/八幡町1-6-22】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>学習者数</th> <th>出身国</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>21人</td> <td>ベトナム</td> <td>22回</td> </tr> </tbody> </table> 日本語教室受講生、日本人配偶者、留学生など外国人が一同に介して、クリスマス交流会、お花見交流会、野外活動（いちご狩り体験）、移動学習（石巻広域クリーンセンター見学）、福祉まつり（参加）等を開催。 2 多文化共生社会推進事業「じゃばNeeds塾」の開催（全6回）（12カ国） 参加者の国籍：ペルー、コロンビア、ブラジル、インドネシア、中国、フィリピン、台湾、ベトナム、韓国、タイ、バングラディッシュ、日本 第1回 35人 多文化フェスタ～いしのみき～【向陽町コミュニティセンター 2017/7/8】 第2回 110人 ベトナム人技能実習生交流会～ベトナムの風～【みなと荘 2017/10/1】 第3回 10人 ダンベル体操教室&ヘルシー日本のお弁当教室【みなと荘 2017/10/29】 第4回 16人 防災学習（危機対策課出前講座）【みなと荘 2017/11/12】 第5回 11人 石巻専修大学キャンパスツアー（ロボット制御体験）【石巻専大 2018/2/4】 第6回 59人 着物きつけ教室&持ち寄りランチ交流会【みなと荘 2018/2/18】 計 241人								学習者数	出身国数	開講回数	H27	39人	13カ国	41回	H28	34人	14カ国	40回	H29	30人	9カ国	39回		学習者数	出身国	開講回数	H29	21人	ベトナム	22回
		学習者数	出身国数	開講回数																											
H27	39人	13カ国	41回																												
H28	34人	14カ国	40回																												
H29	30人	9カ国	39回																												
	学習者数	出身国	開講回数																												
H29	21人	ベトナム	22回																												
成 果	「日本語支援教室」では、日本語教育を通して地域コミュニティに溶け込みやすい環境づくりを行うほか、「じゃばNeeds塾」においては、日本語支援教室の協力を得て様々な文化に触れ合う交流を行い、多文化共生推進に寄与した。																														
成果に係る評価	本市に住む外国人住民が生活しやすい環境にするため、「日本語支援教室」、「じゃばNeeds塾」を開催し、日本語・日本文化風習教育や多文化・多言語に触れ合うことが必要であることから、事業を継続する必要がある。																														
（単位：円）																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
	647,652	647,652	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
						647,652																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第6節	日常の身近な安全性を高める		( )	
	14 目	交通安全対策費		(1)	交通事故の発生を防止する		( )	
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業	交通安全対策費				
事業コード		004-006-001-00002	事 業 名	交通安全推進事業				
目的及び事業内容		各世代や歩行者・運転者へ交通安全意識の高揚を図り、交通安全運転の励行や飲酒運転の根絶を目指し、交通事故の撲滅を図る。 広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるために、各種行事等の開催や、周知活動、広報活動を行うことにより交通事故防止に寄与する。 交通安全対策車両の計画的な買い替えにより、交通安全指導隊によるパトロール活動や広報活動を円滑に行えるようにする。						
取組実績		各種交通安全運動として下記の事業を実施した。						
		月 日	事業名	事業内容				
		4 上旬	新入生児童に対する交通事故防止	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布				
		6~15	春の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導				
		7 21~8/10	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報				
		9 21~30	秋の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導				
		10 1~1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報				
		3	石巻市交通安全大会	交通安全と飲酒運転根絶に向けた市民への意識啓発活動				
		11 17	第48回宮城県交通安全県民大会	県民総参加による交通安全運動の推進 交通事故のない安全で快適な社会の実現				
		12 1~2/28	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報				
		12 1~31	年末の交通事故防止運動	交通指導員等による街頭指導				
		飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。						
		月 日	事業名	事業内容				
		4 6~15	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報				
		5 22	第11回宮城県飲酒運転根絶県民大会	飲酒運転根絶に係る意識を高める大会				
		7 26~28	飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布	全戸配布による周知活動				
		9 21~30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報				
		12 1~28	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報				
		22	年末の飲酒運転根絶キャンペーン	市内2店舗で啓発活動				
		2 22	飲酒運転根絶広報	新聞掲載				
		3 22	飲酒運転根絶広報	新聞掲載				
		交通安全対策車両1台を買い替えた。(桃生総合支所地域振興課配備車両)						
成 果		春季及び秋季の交通安全運動のほか、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、交通事故防止を推進し、飲酒運転根絶に向け市民に対し交通安全意識の高揚が図られた。また、交通安全大会のほか、各種広報活動により安全安心な交通社会への実現に寄与した。						
成果に係る評価		交通安全指導員による街頭指導43回、学校等での交通安全教室54回を開催し、交通安全意識の高揚を図ることができた。 交通事故は年々減少傾向にあるが、子供と高齢者の交通事故は前年より増加している。また、飲酒運転根絶に向けた活動を実施しているが、根絶には至っていない。飲酒運転根絶及び交通事故防止の達成に向け、啓発活動を重点に事業を推進していく必要がある。						
予算の執行状況		(単位：円)						
		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		5,400,000	5,277,240	500,000			4,777,240	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	1 項	総務管理費		第 節			( )	
	16 目	情報プラザ運営費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報プラザ関係費				
事業コード			事 業 名	情報プラザ運営事業				
目的及び事業内容		市民のコンピュータリテラシーの習得を推進・支援し、市民生活の利便性を向上させ、魅力的な地域社会の貢献に寄与する。						
取組実績		1 パソコン初心者者の施設利用者に対して、マンツーマンによる指導や助言を行い、一般利用者(市民)が利用しやすい環境整備を図った。 2 パソコン初心者者を対象としたパソコンセミナーを開催し、コンピュータリテラシーの向上を図った。 3 インターネットサービスプロバイダー事業により、市民へインターネット接続環境を提供してきたが、事業の見直しにより平成30年3月末に廃止した。利用者に対しては、民間事業者が提供するサービスへ円滑に移行できるよう、サポートを行った。 4 放送大学宮城学習センター石巻視聴覚学習室(再視聴施設)を設置することにより、学びたい人にもいつでも学べる環境を提供した。						
成 果		市民が身近にパソコンと触れ合う場として施設・サービスを提供することにより、魅力的な地域社会に貢献し、市民のICT環境の整備が図られた。						
		主な情報プラザ利用状況						
		区分		H27	H28	H29		
		PCセミナー等利用者		1,269人	1,901人	996人		
		うち 情報プラザ主催事業等		1,043人	1,597人	677人		
		うち その他主催事業		226人	304人	319人		
		インターネットサービスプロバイダー利用者		197人	181人	156人		
		うち 一般利用		114人	99人	74人		
		うち 公用等		83人	82人	82人		
		ネットデッキ利用者(インターネット)		477人	634人	397人		
		放送大学利用者		0人	4人	7人		
成果に係る評価		民間事業者が提供しているサービスと重複していた事業を廃止したことにより、さらに利用者が減少することが見込まれることから、今後、情報プラザの管理運営についても検討していく必要がある。						
予算の執行状況		(単位：円)						
		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		43,074,000	42,535,563			1,319,840	41,215,723	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	( )		
	1 項	総務管理費		第 3 節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		( )		
	17 目	蛇田支所等複合施設建設事業費		( 2 )	行政サービスの質の向上を図る		( )		
実施計画掲載ページ		P 15	中 事 業	蛇田支所等複合施設建設事業費					
事業コード		001-003-002-01104	事 業 名	蛇田支所等複合施設整備事業					
目的及び事業内容		現在の蛇田支所と蛇田公民館は、狭あいでの老朽化が進み、駐車場が不足している現状である。また、蛇田地区は人口が急増しており、将来を見据えた新たな公共サービスの拠点が必要となっていることから、蛇田支所と蛇田公民館からなる複合施設として整備するもの。							
取組実績		<p>地域住民や公民館利用者等に対する説明会を開催し、住民の意見や要望等を取り入れた基本設計、実施設計を行った。</p> <p>基本設計等説明会開催状況</p> <p>平成29年9月8日 蛇田地区行政委員区長会役員 9名</p> <p>平成29年9月11日 蛇田公民館利用者協議会執行部会 12名</p> <p>平成29年10月5日 隣地住民 7名</p> <p>平成29年10月30日 地区住民 55名</p> <p>平成30年2月14日 隣地住民 5名</p> <p>設計概要</p> <p>敷地面積 5,497.83㎡</p> <p>建物構造 鉄筋コンクリート造2階建</p> <p>延床面積 1,993.62㎡ (支所 412.90㎡、公民館 1,580.72㎡)</p>							
成 果		<p>蛇田支所等複合施設整備事業の進捗が図られた。</p> <p>なお、主な年次計画は次のとおりである。</p> <p>主な年次計画</p> <p>平成28年度 基本計画</p> <p>平成29年度 基本設計・実施設計</p> <p>平成30年度 建設工事</p> <p>平成31年度 建設工事・供用開始</p>							
成果に係る評価		平成31年秋の供用開始に向け、事業を着実に進捗させる必要がある。							
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他
			一般財源						
	8,288,962	8,288,119		6,000,000				2,288,119	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )																																
	27 目	諸費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )																																
実施計画掲載ページ		P 33	中 事 業	非核平和都市推進費																																			
事業コード		002-003-001-00022	事 業 名	非核平和推進人材育成事業																																			
目的及び事業内容		市の将来を担う中学生を対象に、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶため、広島市が主催する平和記念式典等に参加する中学生派遣事業及び市内中学校において原爆被爆者を講師とした被爆者体験講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。																																					
取組実績		<p>非核平和推進人材育成事業の実施</p> <p>(1) 平和記念式典等への中学生派遣事業</p> <p>研 修 先：広島市</p> <p>日 時：平成29年8月5日(土)～8日(火) 市内中学生8名</p> <p>※台風5号の影響により1日延泊</p> <p>研修内容：平和記念式典への参加、被爆体験者講話、平和記念資料館視察等を行った。</p> <p>(2) 被爆体験者講話</p> <p>参 加 者：渡波中学校 全学年317名</p> <p>日 時：平成29年11月13日(月)午後2時～午後3時30分</p> <p>内 容：(公財)広島平和文化センター被爆体験証言者の李 鐘根氏を講師に招き、「被爆体験と戦争の無い世界」をテーマとして、講演会を開催した。</p>																																					
成 果		<p>市の将来を担う中学生が、広島市が主催する平和記念式典等への参加や、被爆体験者講話を通して平和の尊さを学ぶことにより、非核平和に対する啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="3">平和記念式典等への中学生派遣事業</th> <th colspan="2">被爆体験者講話</th> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標：研修参加人数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> <th rowspan="2">講話参加人数</th> <th rowspan="2">実施校</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>6 人</td> <td>6 人</td> <td>100 %</td> <td>106 人</td> <td>飯野川中学校 1～3年生</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6 人</td> <td>6 人</td> <td>100 %</td> <td>141 人</td> <td>門脇中学校 1、2年生</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8 人</td> <td>8 人</td> <td>100 %</td> <td>317 人</td> <td>渡波中学校 全学年</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校	目標値	実績値	H27	6 人	6 人	100 %	106 人	飯野川中学校 1～3年生	H28	6 人	6 人	100 %	141 人	門脇中学校 1、2年生	H29	8 人	8 人	100 %	317 人	渡波中学校 全学年
区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話																																			
	成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校																																		
	目標値	実績値																																					
H27	6 人	6 人	100 %	106 人	飯野川中学校 1～3年生																																		
H28	6 人	6 人	100 %	141 人	門脇中学校 1、2年生																																		
H29	8 人	8 人	100 %	317 人	渡波中学校 全学年																																		
成果に係る評価		<p>非核平和推進人材育成事業参加者は、広島市が主催する平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学を通して、改めて平和の尊さを学び、本事業終了後は、自校の文化祭等で自らが感じ取った研修内容を発表し、広く啓発活動を行った。</p> <p>また、被爆体験者の講話を拝聴することにより、戦争の恐ろしさ、悲惨さを学ぶ機会を提供した。今後も平和の尊さ、戦争の悲惨さを後世に伝えるため、継続して本事業を実施し、非核平和に対する啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成に資することができる。</p>																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他																														
			一般財源																																				
	2,116,800	2,059,857						2,059,857																															



予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				( 3 )	減災まちづくりの推進
	28 目	東日本大震災関係費				( 3 )	新エネルギー等の活用
実施計画掲載ページ	P167		中 事 業	スマートコミュニティ推進事業費			
事業コード	001-303-001-00946		事 業 名	スマートコミュニティ推進事業			
目的及び事業内容	<p>震災復興基本計画重点プロジェクトの1つとして「災害に強く環境にやさしいまちづくり」の実現を図るため、再生可能エネルギーやICTを活用し有事の際に避難所となる公共施設に導入された太陽光発電設備、蓄電池をエネルギー管理システムで総合管理し、地域のエネルギー情報を見える化するとともに、次代を担う子どもたちへの環境意識の醸成を図る。</p>						
取 組 実 績	<p>1 環境負荷軽減及び防災機能強化の取り組み (1) 平時は環境にやさしい移動手段として、有事では移動可能な非常用電源の供給といった防災機能強化を図るため、みやぎ環境交付金を活用し公用電気自動車を導入（河北総合支所へ配備）</p> <p>2 スクールデマンドレスポンス（スクールDR）の拡大実施 (1) 平成28年度に環境整備した2校を加えた計30校において整備した環境を活用した環境負荷軽減の取り組みを実施 ア スクールDR参加校 ⇒ 避難所となる小・中・高校計30校 イ 実施回数 ⇒ 毎月1回（夏季休暇にあたる8月は未実施） (2) これまでの取り組みで収集した情報の分析結果をもとに、再生可能エネルギーの有効活用の実証運用を検討</p>						
成 果	<p>1 平成29年度では、スクールDR実施校を30校としエネルギーの見える化の仕組みを活用した環境負荷軽減の取り組みを昨年度に引き続き実施し、次代を担う若い世代の環境意識の醸成が図られた。</p> <p>2 これまでの取り組みで得られた情報の分析結果を基に、施設に整備された環境下での再生可能エネルギーの有効活用策について関係機関と連携した取り組みを実施し、翌年度以降のスクールDR実施における実証運用の環境整備が図られた。</p> <p>3 平成29年度では、昨年度同様、みやぎ環境交付金を活用し河北総合支所に電気自動車（公用車）を配備し、環境負荷軽減と有事における移動可能な非常用電源の供給を可能とする等地域内における防災機能の強化が図られた。</p>						
成果に係る評価	<p>整備した環境を活用したスクールDRの取り組みでは、各校の学校活動に影響の出ない可能な範囲で節電行動に取り組むこととしており、取り組み方にも多少バラつきが見られた数値をそのまま成果と見なすことはできないが、中には普段の使用電力から10%以上節電効果が認められる学校もあり、震災直後に経験した教訓と普段、使用している電力の状況等が見える化されたことによる環境意識の醸成が確実に浸透してきている。</p> <p>また、環境整備した学校では災害時避難所として開設され災害の発生時期や時間によってさまざまな対応を強いられ、再生可能エネルギーの有効活用を図った安心・安全な避難所運営に繋げるためには、今後更なる情報の積み上げと分析が重要であり、各地域への公用電気自動車の配備に至っては、環境負荷軽減の取り組み以外にも電気自動車の蓄電池を活用した広範囲に及び防災機能強化を図るためには重要な事業であるため、事業を継続する必要がある。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,847,000	6,239,238	2,710,655			3,528,583	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				( 2 )	地域の方でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費				( 1 )	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P145		中 事 業	地域自治システム関係費			
事業コード	001-201-005-00310		事 業 名	地域自治システム構築支援事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>平成22年、地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指すし、市民と行政が協働のまちづくりをつくるため地域自治システムの構築を進めていた。しかし、震災後、地域コミュニティが崩壊した中で、地域自治システムを進めるには難しい地域もあることから、被害が少なかった地域において住民からの要請のあった地域から進めている。</p>						
取 組 実 績	<p>地域の創意と工夫、判断と責任を尊重し、市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進するとともに、住民自治組織の円滑な運営と個性あふれる地域づくりを支援するため、石巻市住民自治組織交付金を交付した。</p> <p>また、地域自治システム構築の推進に当たっては、住民はもとより行政も協働への理解を深める必要があるため職員研修を実施した。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 住民自治組織交付金            河南地区 河南地域住民自治協議会 交付額：2,366,000円            山下地区 山下地区協働のまちづくり協議会 交付額：929,000円            桃生地区 ものう夢ネットワーク 交付額：1,236,584円（計4,531,584円）</p> <p>2 地域自治システム職員研修会 ー平成29年度地域自治システム「協働のまちづくり」職員研修会ー            実施日：平成30年3月20日            研修講師：副市長 佐藤 茂宗            研修内容：課長補佐級以上の職員を対象とし、資料をもとにした講話            演題 「行政に求められるもの」～これからの協働のまちづくり～            参加人数：66人</p>						
成 果	<p>河南・山下・桃生の3地区において、独自の事業活動を展開することで地域課題に向けた取組みが推進された。また、地区毎に発行する会報によって活動内容を周知することで、地域住民の参画が図られた。</p> <p>職員研修については、出席者に対するアンケートを集約した結果、「地域活動に参加している・機会があれば参加している」とする回答が75.4%と多く、ほとんどが職員向けの「協働」に関する研修・学習は必要との回答であり、継続的な啓発の必要性を再確認した。</p>						
成果に係る評価	<p>現代社会における多様なニーズが求められている中で、行政サービスだけでは解決できない地域の諸問題に対して、地域住民自らが主体となって問題解決へ向けて取り組み、地域の特性を活かした個性ある地域づくりを推進するためにも、地域自治システムを活用する住民自治組織の構築が必要となる。しかし、住民自治組織が立ち上がっていない地区が多いことから、住民の自主的な活動や意識の醸成を図るような普及啓発活動を推進する。</p> <p>また、自治システムが設立されている3地域の課題の洗い出しや検証を実施する。さらには、職員研修についても、「協働のまちづくり」を推進する上で不可欠であることから、継続して実施する必要がある。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,173,000	4,560,653				4,560,653	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり	
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなで守る	
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援	
実施計画掲載ページ	P143		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費				
事業コード	001-201-003-00305		事 業 名	コミュニティ形成支援補助事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容	<p>震災の影響で町内会等による祭りなどのイベント等の開催が自粛され、コミュニケーションづくりの場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業やイベントなどの事業に助成を行い、町内会組織等の再生と仮設住宅団地及び復興公営住宅入居者のコミュニケーションづくりやコミュニティの育成促進を図る。</p>							
取組実績	<p>市内に設立されている町内会等の住民自治組織に対し、1団体年10万円を限度として補助金を交付した。また、復興公営住宅の入居者と周辺住民との交流会等に1復興公営住宅につき1回限り10万円を限度とし、補助金を交付した。</p>							
	一般分		復興公営住宅分					
	地区名	件数	H29	地区名	件数	H29		
		H28	H29	補助金交付額	H28	H29	補助金交付額	
	石巻	105件	95件	8,944,382円	石巻	5件	4件	309,220円
	河北	14件	14件	1,397,379円	計	5件	4件	309,220円
	雄勝	5件	6件	505,792円				
	河南	29件	32件	3,174,696円				
	桃生	8件	10件	784,422円				
	北上	2件	3件	220,265円				
	牡鹿	4件	4件	298,916円				
	計	167件	164件	15,325,852円				
成 果	<p>住民自治組織等が主体となって様々なイベントが開催され、住民同士の交流の機会となり親睦が深められた。補助金利用団体からは「本補助金を受け、多彩な事業内容を行うことができ、地域の絆再生に寄与している」等の報告が寄せられた。</p> <p>さらに、復興公営住宅入居者と周辺住民自治組織の住民との交流活動も実施され、復興公営住宅入居者が周辺住民自治組織へ編入するためのコミュニケーション機会を創出することができた。</p> <p>事業の周知については、市報や市のホームページ等への掲載、町内会連合会総会、区長会等の会議における説明や概要をわかりやすく説明したチラシを作成し配布したことにより、補助金交付実績は平成28年度と同等程度となった。</p> <p>主な補助金交付事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏まつり（盆踊り）等</li> <li>・レクリエーション大会</li> <li>・清掃活動等の地域づくり</li> <li>・植栽活動</li> <li>・芋煮会、敬老行事</li> <li>・スポーツ大会</li> <li>・親睦旅行</li> <li>・世代間交流事業</li> <li>・町内会合同の交流会</li> </ul>							
成果に係る評価	<p>毎年継続的に補助金を交付してきたことで、制度の存在も住民自治組織に浸透してきており、本補助金を活用することにより、住民自治組織が積極的に交流活動を実施することができ、住民同士のコミュニケーションの機会を増やすことができた。</p> <p>また、本補助金は復興公営住宅と既存住民自治組織との交流会等にも利用することができるため、既存住民自治組織が交流会を開催するなど復興公営住宅と既存住民組織との交流の場を提供する一助となった。</p> <p>なお、復興公営住宅分の補助事業の周知にあたり、補助金額が高い県の地域コミュニティ再生支援事業補助金の周知も併せて行ったことにより、県の補助事業の採択が伸び、本補助金交付件数が停滞したが、今後も引き続き周知を図っていきたい。</p>							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
国(県)支出金			地方債	その他	一般財源			
	25,000,000	15,635,072	309,220		15,325,852			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																																	
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなで守る																																																																	
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援																																																																	
実施計画掲載ページ	P143		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																																																																				
事業コード	001-201-003-00306		事 業 名	集会所等コミュニティ施設復旧整備事業〔復興交付金〕〔復興基金〕																																																																				
目的及び事業内容	<p>【目的】 市民と行政の協働のまちづくりを図る。  【内容】 東日本大震災により被災した集会所の新築、改築、増築、改修事業への補助や集会所として使用する目的である既存建物・土地の取得事業への補助</p>																																																																							
取組実績	<p>○被災集会所の新築及び改修事業（石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金）  【新築 6件】 石巻1件、雄勝1件、北上2件、牡鹿2件  【備品21件】 新築集会所6件、復興公営住宅集会所15件</p> <p>○被災集会所の新築事業・交流活動（被災地域交流拠点施設整備事業補助金）  【新築 0件】  【交流活動2件】 石巻1件、北上1件</p>																																																																							
	成 果	<p>東日本大震災により被災した地区集会所を整備することにより、地域住民活動の拠点が整備されるとともに、既存コミュニティの再生と新たなコミュニティ組織づくりの推進が図られた。</p> <p>○石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>根岸会館（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>15,703,496円</td> <td>14,542,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>船越集会所（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>22,029,000円</td> <td>22,029,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>相川集会所（北上）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>26,105,760円</td> <td>26,096,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>追波菖蒲田集会所（北上）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>15,559,452円</td> <td>15,126,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>殿浦振興会集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>16,749,000円</td> <td>16,749,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>谷川浜集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>15,325,192円</td> <td>15,320,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>復興公営住宅集会所15件</td> <td>初期備品</td> <td>7,500,000円</td> <td>7,500,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>118,971,900円</td> <td>117,362,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○被災地域交流拠点施設整備事業補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不動町町内会集会所（石巻）</td> <td>交流活動</td> <td>127,648円</td> <td>92,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>にっこり集会所（北上）</td> <td>交流活動</td> <td>204,111円</td> <td>203,224円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>331,759円</td> <td>295,224円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合	根岸会館（石巻）	新築・初期備品	15,703,496円	14,542,000円	上限	船越集会所（雄勝）	新築・初期備品	22,029,000円	22,029,000円	上限	相川集会所（北上）	新築・初期備品	26,105,760円	26,096,000円	上限	追波菖蒲田集会所（北上）	新築・初期備品	15,559,452円	15,126,000円	上限	殿浦振興会集会所（牡鹿）	新築・初期備品	16,749,000円	16,749,000円	上限	谷川浜集会所（牡鹿）	新築・初期備品	15,325,192円	15,320,000円	上限	復興公営住宅集会所15件	初期備品	7,500,000円	7,500,000円	上限	計		118,971,900円	117,362,000円		集会所名	事業区分	事業費	補助金額	備考	不動町町内会集会所（石巻）	交流活動	127,648円	92,000円		にっこり集会所（北上）	交流活動	204,111円	203,224円		計		331,759円	295,224円
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合																																																																				
根岸会館（石巻）	新築・初期備品	15,703,496円	14,542,000円	上限																																																																				
船越集会所（雄勝）	新築・初期備品	22,029,000円	22,029,000円	上限																																																																				
相川集会所（北上）	新築・初期備品	26,105,760円	26,096,000円	上限																																																																				
追波菖蒲田集会所（北上）	新築・初期備品	15,559,452円	15,126,000円	上限																																																																				
殿浦振興会集会所（牡鹿）	新築・初期備品	16,749,000円	16,749,000円	上限																																																																				
谷川浜集会所（牡鹿）	新築・初期備品	15,325,192円	15,320,000円	上限																																																																				
復興公営住宅集会所15件	初期備品	7,500,000円	7,500,000円	上限																																																																				
計		118,971,900円	117,362,000円																																																																					
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	備考																																																																				
不動町町内会集会所（石巻）	交流活動	127,648円	92,000円																																																																					
にっこり集会所（北上）	交流活動	204,111円	203,224円																																																																					
計		331,759円	295,224円																																																																					
成果に係る評価	<p>地区集会所は、被災により失われたコミュニティの再生や新たな構築のための拠点施設として重要な役割を果たしており、市民と行政の協働のまちづくりの推進に大きく寄与することから、今後も集会所の建設・整備事業に対して支援を継続していく必要がある。</p>																																																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																																																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																					
国(県)支出金			地方債	その他	一般財源																																																																			
	118,198,000	117,657,224	295,224		48,091,000	69,271,000																																																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		( 2 )	地域の方でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P143	中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	001-201-002-00929	事業 名	地域づくりコーディネート事業〔復興基金〕				
<p>住民自治組織の推薦を受けたNPO等の市民公益活動団体が、コミュニティの再生・強化を推進するために、住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりを支援する事業に対し補助する。</p>							
目的及び事業内容							
取組実績	平成29年度採択団体名		事業名		補助額		
	1	一般社団法人 ヒガシミノ団地	中里住吉地区における町内会と復興公営住宅とのコミュニティ形成と再構築		2,250,000円		
	2	特定非営利活動法人 20世紀アーカイブ仙台	「昭和時代の地域映像を活用した高齢者のためのコミュニティづくり」事業		1,389,935円		
	3	一般社団法人 石巻じちれん	新蛇田（のぞみ野）地区つながりコーディネート事業		1,491,830円		
	4	上釜を愛する会	地域の力を活かした住民主体の地域づくりサポート事業		1,460,585円		
	5	一般社団法人 ウィアーワン北上	北上地域・住民による住民のための地域づくり		2,147,835円		
	6	NPO法人 ばんぶきんふれあい会	湊地区復興公営住宅入居者と周辺地域における「顔の見える関係」の構築と互助力の向上に向けた住民育成事業		2,500,000円		
	7	一般社団法人 日本カーシェアリング協会	住民主体でのカーシェアリングを通じた新西前沼地区でのコミュニティ形成サポート事業		2,459,700円		
	8	一般社団法人 BIGUP石巻	釜・大街道地区における包括的な地域づくりモデル事業		2,500,000円		
	合 計				16,199,885円		
成 果	1 「一般社団法人 ヒガシミノ団地」町内会に加入できていなかった復興公営住宅入居者を町内会に加入することができた。						
	2 「特定非営利活動法人 20世紀アーカイブ仙台」復興公営住宅入居者や新市街地でのコミュニティづくり、独居高齢者の孤立防止に効果があった。						
	3 「一般社団法人 石巻じちれん」集会所の管理から地域で活動するサークル等を支援し、地域の交流を促進することができた。						
	4 「上釜を愛する会」住民同士の連帯感が強まり、地域のことについて自ら行動できる担い手が育成できた。						
	5 「一般社団法人 ウィアーワン北上」自治組織が現状のままでは維持できないという認識が共有され、勉強会等が活発になった。						
	6 「NPO法人 ばんぶきんふれあい会」住民による互助意識、地域の課題を「我が事」として考える意識が醸成できた。						
	7 「一般社団法人 日本カーシェアリング協会」新西前沼地区において、地域活動の担い手となる人物が発掘できた。						
	8 「一般社団法人 BIGUP石巻」地域情報紙にて町内会や地域活動を行う方々へ情報を提供し、活動をサポートすることができた。						
成果に係る評価	本補助金の趣旨である「住民自治組織の強化、再生及び再構築を図ること」の成果がみられた。また、それにより住民同士の交流増加や地域課題の解決に繋がっているところもあることから、本補助金は一定の効果을あげている。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	17,986,000	16,199,885			16,199,885		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	28 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ		P173	中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	002-101-004-01019	事業 名	(仮称)相川地区コミュニティ施設整備事業(北上地区)(復興交付金)				
<p>震災により希薄化した相川地区のコミュニティ意識を高めていくため、地区住民相互のコミュニティの交流、子供から年配の方までが集える場の確保のため施設整備する。</p>							
目的及び事業内容							
取組実績	○平成27年度 用地測量及び補償調査、用地取得、物件移転補償 事業費 6,247,614円						
	○平成28年度 地質調査、基本設計・実施設計 事業費 2,785,320円						
成 果	○平成29年度 基本設計・実施設計、土地造成工事、建設工事、工事監理業務、備品購入 事業費 137,726,173円						
	平成30年3月に竣工した。						
成果に係る評価	○施設概要 施設名称 相川地区コミュニティセンター 所在地 北上町十三浜字猪の沢44-1 構造面積 木造平屋建て 延べ床面積330.72㎡ 施設概要 多目的ホール、会議室1、2、調理室、管理室、図書スペース他 総事業費 146,759,107円 開館日 平成30年4月1日(開所式：平成30年4月3日) 管理運営 指定管理者 相川地区コミュニティ推進協議会						
	平成29年度中に予定どおり工事を完了することができた。今後は、地域コミュニティの拠点として、利用の促進に努めていく。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	153,594,124	137,726,173			110,179,000	27,547,173	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				( 2 )	地域の方でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費				( 1 )	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P145	中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード		001-201-005-00678	事 業 名	復興応援隊設置事業			
目的及び事業内容		被災地の自治機能回復と持続可能な地域コミュニティの構築を長期的視野に入れ、マンパワー不足の解消と地域の将来を担う人材の育成を行い、被災地の地域づくりを目的とした住民主体の地域活動を促進するため、一定期間、地域住民の活動を支援する。					
取組実績		<p>平成29年度復興応援隊設置事業委託契約額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●石巻中央地区（応援隊員4名）・・・13,629,600円 住民主体での被災の実情と教訓が後世に伝承される体制構築 地域の子ども達への震災伝承</li> <li>●雄勝地区（応援隊員4名）・・・18,273,600円 住民主体のまちづくり「地域が主役の元気なまちの創造」支援 地域コミュニティ紙の編集、配布による情報提供 地域おこし復興イベントの応援</li> <li>●北上地区（応援隊員4名）・・・13,705,200円 北上地域の住まいと暮らしの復興 北上地域の活性化支援</li> <li>●牡鹿地区（応援隊員5名）・・・18,048,960円 地域の復興及びまちづくり構想への提案や事業実施サポート 牡鹿地区内での祭り・イベント等の開催支援 復興状況等の情報発信</li> </ul>					
成 果		<ul style="list-style-type: none"> <li>●石巻中央地区 震災伝承プログラムの開催件数と人数・・・428件、10,923人 震災伝承施設「つなぐ館」の運営・・・888件、3,754人</li> <li>●雄勝地区 月1回の「月刊雄勝」の発行・・・発行部数1,600部 交流スペースを活用した住民協働支援・・・サークル活動15グループ/イベント10回 地域おこしイベントの補助活動・・・5回</li> <li>●北上地区 北上地域の住まいと暮らしの復興に係るワークショップ等・・・21回 北上地域の活性化支援に係る復興イベント等の開催・・・9件 地域コミュニティ紙による情報発信・・・12回</li> <li>●牡鹿地区 地域の復興及びまちづくり構想への提案や事業実施サポート・・・24回 牡鹿地区内での祭り・イベント等の開催支援・・・6回 復興状況等の情報発信・・・13回</li> </ul>					
成果に係る評価		復興応援隊は、平成24年度から宮城県事業として実施してきたが、平成29年度から石巻市事業として、引き続き実施した。 各地区での事業実施を通じ、地域の復興・再生と地域コミュニティの再構築が図られた。 また、課題として、平成32年度の復興期間収束があげられるが、事業終了後の住民主体の活動への機運醸成と移行を進めている。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳				
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	67,580,000	63,657,360				63,657,360	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																													
	1 項	総務管理費				( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																													
	28 目	東日本大震災関係費				( 1 )	被災者への生活支援																													
実施計画掲載ページ		P175	中 事 業	被災地域交通対策関係費																																
事業コード		002-101-005-00361	事 業 名	応急仮設住宅バス運行事業																																
目的及び事業内容		震災後の平成23年9月より、応急仮設住宅入居者を中心とする被災者の日常生活における移動手段確保と被災者支援を目的として、医療機関や商業施設を巡回するバスを、被災者の負担を軽減するため、運賃を全区間一律100円で運行し、運行主体に対して運行費を補助する。																																		
取組実績		<p>応急仮設住宅入居者の通院、買い物など日常生活における移動手段を確保するため、全区間一律100円といった低廉な運賃でバスを運行している運行主体に対して運行費を補助した。</p> <p>平成29年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>主な経由地</th> <th>運行主体(補助対象)</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田</td> <td>㈱ミヤコーバス</td> <td>7,837,026円</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>8,178,625円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>8,459,260円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>24,474,911円</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	主な経由地	運行主体(補助対象)	補助金額	石巻市内仮設住宅循環線	石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田	㈱ミヤコーバス	7,837,026円	河北地区仮設住宅線	飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前	河北地区住民バス運行協議会	8,178,625円	桃生地区仮設住宅線	中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前	桃生地区住民バス運行協議会	8,459,260円	合計			24,474,911円									
路線名	主な経由地	運行主体(補助対象)	補助金額																																	
石巻市内仮設住宅循環線	石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田	㈱ミヤコーバス	7,837,026円																																	
河北地区仮設住宅線	飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前	河北地区住民バス運行協議会	8,178,625円																																	
桃生地区仮設住宅線	中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前	桃生地区住民バス運行協議会	8,459,260円																																	
合計			24,474,911円																																	
成 果		<p>防衛団地への移転や復興住宅への入居などにより、仮設住宅からの退去が進んでおり、利用者は大幅に減少しているが、移動手段を持たない仮設入居者にとっては、日常生活の移動手段として利用され、全区間一律100円での運行であり、被災者支援が図られている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>15,501人</td> <td>1,456便</td> <td>10,482人</td> <td>1,461便</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>9,271人</td> <td>728便</td> <td>7,999人</td> <td>730便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>5,926人</td> <td>964便</td> <td>4,430人</td> <td>976便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30,698人</td> <td>3,148便</td> <td>22,911人</td> <td>3,167便</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	H28		H29		利用者数	便数	利用者数	便数	石巻市内仮設住宅循環線	15,501人	1,456便	10,482人	1,461便	河北地区仮設住宅線	9,271人	728便	7,999人	730便	桃生地区仮設住宅線	5,926人	964便	4,430人	976便	合計	30,698人	3,148便	22,911人	3,167便
路線名	H28		H29																																	
	利用者数	便数	利用者数	便数																																
石巻市内仮設住宅循環線	15,501人	1,456便	10,482人	1,461便																																
河北地区仮設住宅線	9,271人	728便	7,999人	730便																																
桃生地区仮設住宅線	5,926人	964便	4,430人	976便																																
合計	30,698人	3,148便	22,911人	3,167便																																
成果に係る評価		仮設住宅入居者の通院・買い物等日常生活の移動手段が確保され、低廉な運賃での運行により負担軽減も図られており、被災者の生活支援の一助となっている。 一方で、退去が進み利用者が減少していることで運賃収入が減少しており、補助金額は年々増加している状況にある。 仮設住宅対応路線については、沿線の仮設住宅が解消される時点で廃止となる予定の路線であり、現行の路線バス、住民バスの路線再編と併せて検討していく必要がある。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																																	
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	24,474,911	24,474,911	24,474,911																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費					( 1 )	新たな防災体制の構築
	28 目	東日本大震災関係費					( 4 )	震災記録の継承
実施計画掲載ページ		P 142	中 事 業		慰霊碑整備事業費			
事業コード		001-104-001-00301	事 業 名		慰霊碑整備事業			
目的及び事業内容		東日本大震災で犠牲となった方々を追悼するため、3地区（雄勝・北上・牡鹿）慰霊公園内に慰霊碑を建立する。						
取 組 実 績		<p>次の地区における慰霊碑等設置業務を実施した。</p> <p>1 北上地区慰霊碑等設置業務  ・公募型プロポーザル方式による提案募集（申込者数3者）  ・プロポーザル選定委員会（委員6人）で委託事業者を選定  ・平成30年3月完成</p> <p>2 雄勝地区慰霊碑等設置業務  ・公募型プロポーザル方式による提案募集（申込者数4者）  ・プロポーザル選定委員会（委員6人）で委託事業者を選定  ・面整備である慰霊公園の整備スケジュールに合わせ、平成30年度に繰越</p>						
成 果		北上地区では、慰霊碑等設置業務が完了したことにより、東日本大震災で犠牲となられた方々への追悼・鎮魂及び震災の記憶の伝承が図られた。						
成果に係る評価		北上地区では、慰霊公園及び慰霊碑の完成により、追悼・鎮魂の場として多くの方々が訪れている。残る雄勝・牡鹿地区についても、慰霊公園の整備状況を見据えながら、早急に事業を推進する必要がある。また、本庁地区における慰霊碑整備について、検討していく必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	19,000,000		18,997,200				1,998,000	16,999,200

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費					( 1 )	新たな防災体制の構築
	28 目	東日本大震災関係費					( 4 )	震災記録の継承
実施計画掲載ページ		P 142	中 事 業		震災広報関係費			
事業コード		001-104-001-00301	事 業 名		震災記録収集整理事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		震災の記録を保存し、復興への道のりをデジタルアーカイブ等として後世に伝え、今後の防災事業等の一助とする。						
取 組 実 績		<p>1 震災記録写真、動画データ等の収集・整理</p> <p>2 被災体験談記録（オーラルヒストリー）編集事業  被災した市民の被災体験談（2件）をビデオカメラで撮影し保存した。復興まちづくり情報交流館中央館において、編集した動画の上映を行った。編集した動画を全てチェックし、被災体験談の概要をリストにまとめた。</p> <p>3 震災関連資料のデジタル化  震災関連庁内文書のデジタル化（32,627件 50,990枚）を行った。</p> <p>4 震災関連パネル製作  震災からの復旧・復興状況に関する写真パネル（10枚）を製作した。</p> <p>5 石巻市震災復興記録写真展  (1) H29.4.23（日）千葉県浦安市（ふるさと納税PR）  (2) H29.6.17（土）～18（日）石巻専修大学（いしのまき復興マラソン）  (3) H29.6.23（金）～25（日）イオン仙台幸町店（いしのまきフェア）  (4) H29.7.27（木）～8.3（木）石巻総合運動公園（MLBカップ・リトルリーグ野球全国大会）  (5) H29.11.18（土）～19（日）京都光華女子大学（学園祭内での東日本大震災メモリアル展示）  (6) H30.1.11（木）～2.15（木）千葉県野田市（ふるさと納税PR震災パネル展示）  (7) H30.3.23（金）東京都日野市（東日本大震災チャリティライブ・写真コンテスト・写真展）  ※上記のほか、各種イベントや物産展等の会場にて展示を行った。</p>						
成 果		震災に関する資料の劣化や紛失等を防ぐため、各課で保管している各種資料等をデジタル化したことで、資料の収集や整理を進めることができた。また「東日本大震災アーカイブ宮城」や震災関連写真パネルを展示する機会を設けたが、石巻や仙台での展示以外にも関東や関西の団体等へ貸し出しを行い、震災当時の様子や復興の状況を発信し、震災の風化防止や理解を深めるきっかけが図られた。						
成果に係る評価		震災関連の紙媒体資料をデジタル化することで、資料の劣化や紛失等を防ぐことができることから、今後も継続して復興過程を記録し、震災関連資料の収集・整理を行う必要がある。また、収集資料展やパネル展等の開催については、依頼のあった団体等へ貸し出しを行うことで、震災の風化防止と復興状況への理解を深める効果に繋がるため、今後も積極的なPRに努め、東日本大震災の経験・教訓等を後世へ伝え続けていく必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	8,000,000		7,918,560				7,918,560	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費			(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	28 目	東日本大震災関係費			(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ		P172	中 事 業	震災広報関係費		
事業コード		002-101-003-00357	事 業 名	市報復興号発行事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		東日本大震災による復旧・復興の様々な情報を迅速に発信するため、市報15日号を毎月発行する。				
取組実績		<p>復旧・復興関連情報を掲載した市報を毎月1回発行した。復興まちづくり等の内容説明には、地図や整備が進む過程の写真等を使用し、復興の状況や復興関連情報を分かりやすく掲載することに努めた。また、ハード面の整備事業のほか、震災の記憶を後世に伝承していくための震災伝承事業や震災後の心のケア等、ソフト面の取り組みについても紹介するなど、多角的な情報発信に努めた。</p> <p>〔市報復興号発行〕 毎月15日発行、発行部数月65,000部、8ページ、フルカラー</p> <p>主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興まちづくりに関する情報 ・復旧や復興の様子 ・復興に関するイベント</li> <li>・住宅再建支援制度 ・生活再建支援制度 ・プレハブ仮設住宅退去者の手続き</li> <li>・復興公営住宅入居者募集及び入居手続き ・コミュニティ伝言板</li> <li>・市営住宅（仮設住宅入居者優先住戸）予備登録兼入居申し込み</li> <li>・災害復旧費寄附金の状況 ・災害義援金配分 ・被災者の各種相談案内</li> <li>・産業用地事業者募集 ・復興特区による税制優遇制度 ・中小企業復旧支援制度</li> <li>・防災集団移転新市街地住宅用地募集 ・半島沿岸部の防災集団移転空き区画登録</li> <li>・復興事業に伴う交通規制</li> </ul>				
成 果		復興に関わる情報を発信する目的の下、多くの震災復興関連の情報や将来のまちの姿などを分かりやすく的確に伝えることができた。また、掲載内容も現在進めているハード面の復興事業だけではなく、復興まちづくりを支援するNPO団体や心のケア事業等を紹介し、心の復興に関連する情報も併せて発信することができた。				
成果に係る評価		施設等の整備状況や復興まちづくりに関するハード事業の情報は減少傾向にあるため、今後は防災・減災や復興イベントの情報、心のケア等ソフト事業の周知も図りながら、復興関連の情報発信を通して防災意識の向上や復興を実感してもらえる紙面づくりに努める必要がある。また、市報復興号については、発行のあり方と紙面づくりについて、引き続き復興関連の担当課間で協議を行い、市報15日号を平成29年度で廃止し、これまで15日号に掲載していた復興関連情報を1日号へ包含して掲載を行い、復興特集号の発行などの見直しを行った。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	12,400,000	12,389,970			12,389,970	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ		P173	中 事 業	震災広報関係費			
事業コード		002-101-003-00535	事 業 名	全国避難者市報等郵送事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し、石巻市外への避難を余儀なくされている市民に行政情報や復興関連情報、生活再建情報を伝えるため、市報等を郵送する。					
取組実績		<p>全国避難者情報システムに登録している市民や、被災したことにより石巻市外のみなし仮設に入居している市民等へ、市報1日号と15日号の発行に合わせ、月2回の郵送を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回平均・・・1,244通</li> <li>・郵送物・・・市報、県政だより、議会だより、社協だより、選挙啓発チラシ</li> <li>・郵送方法・・・ゆうメール</li> </ul>					
成 果		復興公営住宅への入居や住宅再建の進捗に合わせ、郵送件数は減少傾向にあるが、市外で生活している避難者に対し、石巻市の現状や復興の進捗状況を知らせることができた。					
成果に係る評価		震災により市外で生活している市民に対し、市の広報紙を通して情報を発信することは、安心に繋がる取り組みであるため、今後も行政情報や復興のまちづくりの情報を伝え、支援していく必要がある。また、石巻市内で生活することが困難な方々が、再び石巻市に戻られた際に安定した生活が送れるよう、住まいの再建の目途が立つまでは、市報等の郵送事業を継続していく必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,880,000	2,229,293			2,229,293		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域の力でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P142	中 事 業		東日本大震災犠牲者追悼式関係費		
事業コード		001-201-001-00303	事 業 名		東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕		
目的及び事業内容		東日本大震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、市主催の追悼式を開催するもの。					
取 組 実 績		<p>東日本大震災石巻市追悼式の実施</p> <p>1 日時 平成30年3月11日（日）午後2時40分～午後5時</p> <p>2 場所 河北総合センター</p> <p>3 概要</p> <p>(1) 式場に祭壇及び献花台を設置した。</p> <p>(2) 震災で犠牲となられた方々の御遺族(2,368人)に案内状を送付した。</p> <p>(3) 本庁と各総合支所（河北総合支所を除く）に祭壇及び献花台を設置し、献花を受け付けた。</p> <p>(4) 石巻合唱連盟・宮城県石巻好文館高等学校音楽部・市民有志による追悼合唱を行った。</p> <p>(5) 国主催の追悼式の中継を、追悼式会場及び各献花場で放映した。</p> <p>(6) 石巻駅前、各総合支所等から送迎バスを運行した。</p>					
成 果		<p>市主催の追悼式を開催することにより、震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、復興への決意を示すことができた。</p> <p>参列者</p> <p>追悼式 河北総合センター 800人（献花のみ100人）</p> <p>献花場 市役所4階庁議室 760人</p> <p>雄勝総合支所仮庁舎 193人</p> <p>遊楽館 319人</p> <p>桃生総合支所 95人</p> <p>北上保健医療センター 100人</p> <p>牡鹿保健福祉センター 153人</p> <p>計 2,420人</p> <p>送迎バス利用者 行き 40人</p> <p>帰り 43人</p>					
成果に係る評価		震災から7年が経過し、風化の進行や伝承の難しさが現実化している今、東日本大震災の犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、国内外に向け、石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、本事業を実施していく意義は大きいものと認識している。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	15,375,000	15,203,965			15,203,965		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域の力でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P144	中 事 業		上釜会館移転建設事業費		
事業コード		001-201-003-01059	事 業 名		上釜会館移転建設事業		
目的及び事業内容		現会館は防衛施設周辺住民の福祉向上を図るために設置された施設であるが、都市計画道路門脇流留線の事業用地となっていることから、移転新築を行う。平成28年度に用地取得及び設計を行い、平成29年度に移転新築工事を実施する。					
取 組 実 績		<p>上釜会館移転新築事業</p> <p>1 上釜会館新築工事設計業務</p> <p>(1) 委託期間 平成28年6月21日から平成29年1月31日まで</p> <p>(2) 委託内容 新会館の設計、現会館の解体設計</p> <p>2 上釜会館移転建設事業不動産鑑定業務</p> <p>(1) 委託期間 平成28年5月26日から平成28年6月30日まで</p> <p>(2) 業務内容 鑑定評価額案作成</p> <p>3 門脇字浦屋敷地内上釜会館候補地用地測量業務</p> <p>(1) 委託期間 平成28年5月18日から平成28年8月31日まで</p> <p>(2) 業務内容 土地境界確定業務</p> <p>4 上釜会館新築予定地地質調査業務</p> <p>(1) 委託期間 平成28年6月21日から平成28年9月30日まで</p> <p>(2) 調査内容 地質調査</p> <p>5 用地取得</p> <p>(1) 売買契約締結日 平成28年12月28日</p> <p>(2) 内容 用地購入取得</p> <p>6 上釜会館新築工事</p> <p>(1) 委託期間 平成29年5月23日から平成29年11月30日まで</p> <p>(2) 業務内容 新築工事</p> <p>7 旧上釜会館解体工事</p> <p>(1) 委託期間 平成29年11月24日から平成30年3月30日まで</p> <p>(2) 業務内容 解体工事</p>					
成 果		平成29年、新築工事の実施により、事業が完了した。					
成果に係る評価		旧上釜会館については、東日本大震災により被災したが、その敷地が都市計画道路門脇流留線の事業用地となったことから現地での復旧はできなかった。このため、県からの移転補償金を主な財源として、地域住民の意見を取り入れながら、様々な用途に使用できる学習等供用施設を移転新築し、住民の福祉向上を図ることができた。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	135,033,000	122,643,315			119,516,315	3,127,000	

予算科目	2 款	総務	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	( )	
	3 項	戸籍住民基本台帳費		第 3 節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		( )	
	1 目	戸籍住民基本台帳費		( 2 )	行政サービスの質の向上を図る		( )	
実施計画掲載ページ		P 15	中 事 業		証明書等コンビニ交付サービス事業費			
事業コード		001-003-002-01160	事 業 名		証明書等コンビニ交付サービス導入事業			
目的及び事業内容		<p>市民サービスの向上のため、マイナンバー制度により申請交付されるマイナンバー（個人番号）カードを活用し、全国のコンビニで住民票や戸籍等の証明書の交付を受けることができる証明書等コンビニ交付サービス導入事業に着手する。</p> <p>平成30年度の運用開始（平成30年7月1日）に向け、より多くの市民に対して、PRに努めるとともに、カードの普及を推進する。</p>						
取 組 実 績		<p>証明書等コンビニ交付サービスに係るシステム構築を実施した。</p> <p>1 コンビニ交付システム構築契約  (1) 構築業者決定（契約締結）  (2) 戸籍及び住基、税系システムベンダーとシステム開発スケジュール調整</p> <p>2 コンビニ交付サービス開始のPR  (1) 市報掲載、チラシ・ポスター作成</p> <p>3 マイナンバーカード普及促進  (1) 市報掲載、HP掲載</p>						
成 果		平成30年7月の運用開始に向け、着実にシステム構築作業を進めた。						
成果に係る評価		<p>証明書等コンビニ交付サービスに係るシステム構築について、計画どおりに作業を進めることができた。</p> <p>また、証明書等コンビニ交付の開始及びマイナンバーカードの普及に係るPRを市報等で実施し、市民に幅広く周知することができた。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,800,000		2,853,455					2,853,455